

平成 22 年 度 発 行

# 小金井市の保健衛生

福祉保健部健康課

# 目 次

## I 健康課の事業

1 事務分掌	1
--------	---

## II 業務概要

### 1 母子保健事業

(1) 妊娠届出・母子健康手帳交付	2
(2) 両親学級 母性科	2
(3) 新生児・未熟児・妊産婦訪問指導	3
母子保健サービス連絡票町別受理数・出生児の内訳（図表）	4
(4) 妊婦健康診査及び超音波検査	4
(5) 妊婦精密健康診査	5
(6) 妊産婦・乳幼児保健指導	5
(7) 新生児等聴覚検査	6
(8) 産婦健康診査	6
(9) 乳児健康診査	7
① 3～4か月児健康診査	7
② 6・9か月児健康診査	7
(10) 乳幼児経過観察健康診査	8
(11) 乳幼児発達健康診査	8
(12) 乳児精密健康診査	9
(13) 1歳6か月児健康診査	10
(14) 1歳6か月児経過観察健康診査（心理）	11
(15) 1歳6か月児精密健康診査	11
(16) 3歳児健康診査	12
(17) 3歳児経過観察健康診査（心理）	14
(18) 3歳児精密健康診査	15
(19) 母子保健推進事業（子育て支援）	16
① 乳幼児保健相談	16
② 母子栄養強化扶助	17
③ ブックスタート事業	17
(20) 乳幼児健康相談	18
(21) 出張健康相談・歯科健康相談	18

### 2 成人保健事業

(1) 健康手帳の交付	19
(2) 独自健康診査	19
① フォロー健康診査	19
② 集団健康診査	20
③ 肝炎ウイルス検診	20
《参考資料》基本健康診査	21
(3) 障害者健康診査	22
(4) 胃がん検診	22
(5) 子宮がん検診	23
① 子宮頸がん検診	23
② 子宮体がん検診	23
(6) 乳がん検診	24
① マンモグラフィ	24
② 視・触診	24
(7) 肺がん検診	25
(8) 大腸がん検診	25
(9) 骨粗しょう症検診	25
(10) 健康づくりフォローアップ指導	26
(11) 健康教育	27
① 健康講演会	27
② 乳がん自己検診法講習会	27
(12) 健康相談	28
① 成人健康相談	28
② 出張健康相談・歯科健康相談	28

## 目 次

3	歯科保健事業	
(1)	乳幼児歯科相談室	28
①	むし歯予防教室	28
②	歯科健康診査	29
③	歯科予防処置	29
(2)	一般歯科健康診査(妊婦)	29
(3)	各種事業における歯科健康教育・歯科健康相談	30
①	歯科健康教育	30
②	歯科健康相談	30
(4)	成人歯科健康診査	30
(5)	歯科医療連携推進事業	31
(6)	歯の衛生週間行事	31
4	感染症予防事業	
(1)	感染症発生及び消毒状況	32
5	予防接種事業	
(1)	定期予防接種	32
(2)	新型インフルエンザワクチン接種費助成	32
6	結核予防事業	
(1)	成人結核検診	33
(2)	乳幼児結核予防接種	33
7	栄養指導・食育事業	
(1)	栄養個別相談	34
(2)	栄養集団指導	34
(3)	食育事業	35
	マタニティクッキング	35
	離乳食教室	35
	こどもクッキング	35
(4)	各種事業における栄養相談・栄養指導	35
(5)	食育月間行事	36
(6)	食育ホームページ編集委員会	36
(7)	乳幼児食育メール配信事業	37
(8)	食育関連団体登録制度	37
8	休日診療・救急医療対策事業	
(1)	休日・休日準夜診療事業	38
(2)	休日・休日準夜歯科診療事業	38
(3)	小児救急医療	38
9	昭和病院組合事業	39
10	献血事業	40
11	狂犬病予防事業	40
12	養育医療給付申請書等受理事務	40
13	大気汚染健康障害者医療費助成申請書等受理事務	41
14	原子爆弾被爆者等援護受理事務	41
15	原子爆弾被爆者見舞金	41
III	参考資料	
1	関連組織	
(1)	小金井市市民健康づくり審議会	42
(2)	食育推進会議	42
(3)	予防接種対策連絡会	43
(4)	予防接種健康被害調査委員会	43
(5)	小金井市献血推進協議会	43
(6)	重症急性呼吸器症候群(SARS)等対策連絡会	43
(7)	東京都薬物乱用防止小金井地区推進協議会	43
(8)	小金井市新型インフルエンザ対策本部	43

# I 健康課の事業

## 1. 事務分掌(平成22年4月1日現在)

- (1) 感染症の予防に関する事。
- (2) 結核予防に関する事。
- (3) 予防接種に関する事。
- (4) 母子保健に関する事。
- (5) 歯科衛生に関する事。
- (6) 栄養指導に関する事。
- (7) 健康相談に関する事。
- (8) 成人保健事業に関する事。
- (9) 食育推進会議に関する事。
- (10) 昭和病院組合に関する事。
- (11) 保健にかかわる関係機関との連絡調整に関する事。
- (12) 保健センター及び保健会場の管理運営に関する事。
- (13) 大気汚染健康被害者医療費助成申請書等の受理に関する事。
- (14) 原子爆弾被爆者等の各種申請書の受理に関する事。
- (15) 薬物乱用防止に関する事。
- (16) 畜犬登録及び狂犬病の予防注射に関する事。
- (17) 課内の庶務に関する事。

## II 業 務 概 要

## 1. 母子保健事業

### (1) 妊娠届出・母子健康手帳交付(母子保健法第15・16条)

妊娠届出書を提出した妊婦に母子健康手帳を交付し、妊娠中の経過・出産の状況・各種健康診査・予防接種の記録等、母と子の健康保持を図ることを目的に交付した。

#### 妊娠届

開始年度 平成9年度

年齢別届出数

年 齢	20歳以下	21～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	計
届 出 数	8件	56件	279件	410件	228件	62件	1,043件

妊娠週別内訳週数

週 数	11週以内	満12～19週	満20～27週	満28週以上	不詳	満11週以内 (第3月以内の届出割合)
届 出 数	844件	95件	8件	10件	86件	80.9%

届出数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
997件	922件	990件	1,010件	1,043件

#### 母子健康手帳

開始年度 平成4年度(東京都から移管)

交付数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
1,021冊	954冊	1,012冊	1,055冊	1,078冊

※妊娠届出数との差は、多胎児・再交付分

### (2) 両親学級 母性科 (母子保健法第9条)

妊娠・出産育児に関する知識の普及のため、講義及び沐浴等の実技指導を行い、併せて母親同士の交流を図り、友だちづくりへの支援を図った。

一般妊婦対象の平日4日間コース(①ひまわりクラス)、勤労妊婦とパートナーを対象とした土曜日2日間コース(②たんぼぼクラス)の2教室を設け、選択制にて実施した。

実施方法

区 分	①ひまわりクラス	②たんぼぼクラス
開 始 年 度	平成9年度	昭和58年度
対 象 者	概ね16～27週の妊婦(パートナー同伴も可)	概ね16～27週の勤労妊婦とパートナー
周 知 方 法	母と子の保健バッグ(妊娠届出時)・市報	母と子の保健バッグ(妊娠届出時)・市報
申 込 方 法	電話申込	電話申込
実施回数等	年6回(平日4日間コース)	年4回(土曜2日間コース)
実 施 内 容	1日目	オリエンテーション・妊娠とお産の経過・妊娠中の過ごし方
	2日目	母乳育児と産後の生活・妊婦体操と呼吸法・小金井市の母子保健サービス
	3日目	妊産婦と乳幼児の歯科保健・ブラッシング実習・妊娠中と授乳期の栄養の取り方
	4日目	沐浴実習・赤ちゃんの保育(先輩ママの体験談)・フリートーク
実 施 場 所	小金井市保健センター	小金井市保健会場
実 施 体 制	医師・歯科医師・助産師・保健師・管理栄養士・歯科衛生士・事務・先輩ママとそのこども	医師・助産師・保健師・管理栄養士・歯科衛生士・事務
受 講 人 数	実数 108人 延 326人	実数 211人 延 378人

実施状況

区 分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回数	受講延数								
① ひまわりクラス	6回	463人	6回	449人	6回	349人	6回	431人	6回	326人
② たんぽぽクラス	4回	373人	4回	398人	4回	379人	4回	410人	4回	378人

(3) 新生児・未熟児・妊産婦訪問指導(母子保健法第11条・第17～19条)

新生児及び妊産婦を対象に、発育や疾病予防等、育児上必要事項や日常生活等について、委託訪問指導員及び市保健師が家庭訪問の上、適切な指導・助言を行い、異常の発生防止、早期発見に努めるとともに、居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては、適切なサービス提供に結びつけることにより、子どもの健やかな育成を図った。(平成21年4月から、新生児訪問事業の拡大として、「乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)」を実施した。)

また、訪問指導の円滑な推進及び市との連携等を図るため、事務連絡会、事例検討会の実施さらに訪問指導員・保健師の資質向上のため研修会を開催した。

① 新生児訪問指導

実施方法

区 分	委 託 訪 問 指 導 員	市 保 健 師
開 始 年 度	平成9年度	平成9年度
対 象 者	原則、生後120日まで 出生児体重2,500g以上	原則、生後120日まで 出生児体重2,000g以上2,500g未満 多胎児全員の出生体重が2,000g以上で 正常に経過している児 その他継続した支援が必要であると判断された児
周 知 方 法	母と子の保健バッグ(赤ちゃん連絡票(出生通知票))・市報・両親学級 子育て支援課窓口	母と子の保健バッグ(赤ちゃん連絡票(出生通知票))・市報・両親学級 子育て支援課窓口
訪 問 方 法	市内地区別	市内地区別
指 導 員 数	7 人	7 人 (非常勤含む)

② 未熟児訪問指導

実施方法

区 分	市 保 健 師
開 始 年 度	平成16年度(平成16年10月1日開始)
対 象 者	生後1年未満 出生児体重2,000g未満児又は出生児体重2,000g以上で経管栄養、点滴等の医療を受けた乳児
周 知 方 法	母と子の保健バッグ(赤ちゃん連絡票(出生通知票))・市報・両親学級
訪 問 方 法	市内地区別
指 導 員 数	7 人 (非常勤含む)

③ 妊産婦訪問指導

実施方法

区 分	委 託 訪 問 指 導 員	市 保 健 師
開 始 年 度	平成9年度	平成9年度
対 象 者	高齢妊婦(35歳以上)	若年妊婦(20歳以下) 妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、多胎妊娠等の妊産婦 不安が強かったり、生活環境上、特に指導が必要と思われる者等
周 知 方 法	両親学級・市報等	両親学級・市報等
把 握 方 法	妊娠届・両親学級・妊婦健診	妊娠届・両親学級・妊婦健診
訪 問 方 法	市内地区別	市内地区別
指 導 員 数	7 人	7 人 (非常勤含む)

④ 実施状況

母子保健サービス連絡票(出生通知票)受理数

	委託指導員	市保健師	計
母子保健サービス連絡票受理数	467件	150件	617件
うち低出生体重児(除く未熟児)	0件	19件	19件
うち未熟児	0件	35件	28件
低出生体重児届出数	0件	72件	72件

(養育医療申請のみの方を含む)

妊産婦訪問指導

区	分	委託指導員		市保健師		計	
		実施実数	実施延数	実施実数	実施延数	実施実数	実施延数
妊	婦	0人	0人	2人	5人	2人	5人
産	婦	0人	0人	118人	160人	118人	160人

新生児・未熟児訪問指導

区	分	委託指導員		市保健師		計	
		実施実数	実施延数	実施実数	実施延数	実施実数	実施延数
新生児(除く未熟児)		425人	488人	60人	75人	485人	563人
不在確認数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
28日未満実施数		80人	80人	0人	0人	80人	80人
市内里帰り実施数		12人	13人	1人	1人	13人	14人
未熟児		0人	0人	30人	41人	30人	41人

実施状況

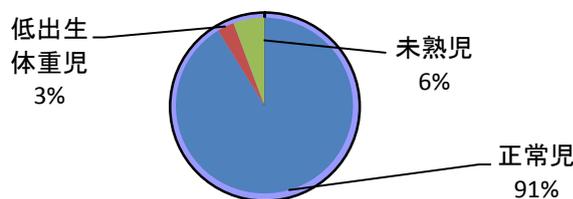
区	分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
		委託指導員	市保健師								
新生児(除く未熟児)		167人	61人	210人	41人	254人	41人	368人	27人	488人	75人
未熟児		0人	20人	0人	26人	0人	21人	0人	39人	0人	41人
妊婦		0人	6人	0人	1人	0人	4人	0人	12人	0人	5人
産婦		0人	116人	0人	78人	0人	75人	0人	96人	0人	160人

母子保健サービス連絡票(出生通知票)町別受理数

町名	東	梶野	関野	緑	中	前原	本	桜	貫井北	貫井南	計
平成17年度	70件	45件	5件	81件	59件	42件	92件	14件	48件	54件	510件
平成18年度	70件	43件	5件	77件	57件	49件	81件	17件	54件	73件	526件
平成19年度	65件	36件	6件	79件	72件	47件	71件	14件	50件	68件	508件
平成20年度	54件	59件	12件	83件	68件	50件	83件	20件	42件	78件	508件
平成21年度	68件	54件	9件	79件	81件	77件	113件	21件	48件	67件	617件

出生児の内訳

正常児	低出生体重児	未熟児	計(出生通知受理数)
563人	19人	35人	617人



(4) 妊婦健康診査及び超音波検査(母子保健法第13条)

妊婦の健康診査を実施して、その健康管理に努め、もって妊産婦及び乳児死亡の低下、流産の防止並びに心身障害児の発生の予防を目的として実施した。

また、妊婦健康診査の実施回数については、平成19年度までは2回(前期・後期)、平成20年度は5回、平成21年度は14回に増回し、さらに、平成20年度からは、助産所や東京都外の医療機関で妊婦健診を受診したために、妊婦健康診査受診票を使用できなかった健康診査について費用助成を行い、受診費用の負担軽減及び妊婦健診の受診促進を図った。

実施方法

開始年度	平成9年度	
対象者	市内に住所を有する妊婦	
周知方法	妊娠届出時に「母と子の保健バッグ」に封入し交付	
実施回数	14回(平成19年度以前2回、平成20年度5回)	
健診内容	1回目限定	血液型、不規則抗体、梅毒、B型肝炎、風しん
	2回目以降限定	保健指導、クラジミア抗原、C型肝炎、経膈超音波、B型溶連菌、NST
	共通項目	体重、血圧測定、尿検査、貧血、血糖
	超音波検査	出産予定日現在35歳以上の妊婦
実施場所	都内契約医療機関	

妊婦健診受診状況

区分	対象者数 (妊娠届 出数)	受診票を 使用して 受診	里帰り 受診	受診者 合計	受診率
1回目	1,043件	992件	14人	1,006人	96.5%
2回目以降	1,043件	8,874件	858人	9,732人	

区分	受診内訳										有所見率
	受診票 受理数	所見内訳(延数)					区市町村への連絡事項内訳				
		異常認め ない	妊娠高血 圧症候群	貧血	糖尿	その他	訪問指導 を要する	当院にて 治療指導	要精密	その他	
1回目	992件	931人	0人	20人	2人	39人	0人	409人	4人	8人	6.1%
2回目以降	8,874件	8,015人	15人	409人	68人	367人	6人	3,687人	11人	86人	9.7%

超音波検査受診状況

対象者数	受診票を 使用して 受診	里帰り 受診	受診者 合計	受診内訳									
				受診票 受理数	所見内訳(延数)				区市町村への連絡事項内 訳				有所 見率
					異常 なし	疑い	あり	不明	訪問 指導 を要 する	治療 又は 経過 観察	要精 密	その他	
290人	185件	1人	186人	185件	178人	0人	6人	1人	0人	80人	0人	4人	3.8%

受診者数

区	分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
妊婦健診	1回目	900人	872人	907人	936人	1,006人
	2回目以降	818人	838人	837人	3,727人	9,732人
超音波検査		201人	205人	225人	240人	186人

(5) 妊婦精密健康診査(母子保健法第13条)

妊婦健康診査の結果、精密健診が必要な妊婦に実施し、母体の保護を図った。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	妊婦健診で医師が必要と認めた妊婦
周知方法	母子保健バック内「母子保健・福祉のサービスガイド」に記載
発行回数	1回
健診内容	診断確定に必要な検査
実施場所	都内契約医療機関

実施状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
申請者数	0人	0人	0人	0人	0人
受診者数	0人	0人	0人	0人	0人

(6) 妊産婦・乳幼児保健指導(母子保健法第10条)

経済的理由により保健指導を受けることが困難な妊産婦・乳幼児に対して診察や検査、またその結果、必要な療養の指導、さらに疾病の予防や健康増進に必要な注意や助言を行い、母子の健康管理を図った。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	妊産婦・乳幼児で生活保護世帯もしくは市民税非課税世帯
周知方法	母と子の保健バッグ・市報・両親学級
申込方法	本人申請(他機関の協力も得る)
指導票の 有効期間	妊婦: 交付の日から分娩日まで 産婦及び乳幼児: 交付の日から1か月間
交付枚数	1回申請1枚(妊婦については、妊娠月数を考慮した必要枚数)
指導内容	一般保健指導(診察・血圧測定・梅毒血清反応検査・尿検査・事後指導)
実施場所	都内契約医療機関

実施状況

区分	妊婦	産婦	乳幼児	計
指導票発行実数	0人	5人	4人	9人
指導票発行延数	0件	5件	4件	9件
受診延数	0件	5件	4件	9件

受診延数

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
妊婦	65人	34人	0人	15人	0人
産婦	3人	2人	0人	1人	5人
乳幼児	2人	3人	15人	1人	4人

(7) 新生児等聴覚検査

聴覚障害を早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な措置が講じられるようにすることを目的として実施した。

実施方法

開始年度	平成15年度(平成15年9月16日)
対象者	3か月児まで
周知方法	母と子の保健バッグ
実施回数	1回(初回の検査において、異常又は異常の疑いがあると認められた場合は、再検査を行う。)
検査方法	自動聴性脳幹反応検査(AABR)
実施場所	市内契約医療機関

実施状況

検査実施数	再検査実施数	延実施数
346人	2人	348人

(8) 産婦健康診査(母子保健法第13条)

妊娠高血圧症候群や貧血の後遺症を早期に発見し、適切な治療につなげることを目的に、心身の不調に陥りやすい産婦の健康保持増進を図った。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	産後6か月以内の産婦
周知方法	健診前月に個別通知・市報
実施回数	月2回(第1・3木曜日) 年24回(3~4か月児健康診査と同時実施)
健診内容	予診・血圧測定・尿検査・個別相談
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	保健師・看護師・臨床検査技師・事務

受診状況

回数	対象者数 (通知発送数)	受診者数	受診率	項目別受診者数(延数)			有所見者実数	有所見率	項目別有所見者数(延数)		
				尿検査	血圧測定	貧血			尿	血圧	貧血
24回	962人	912人	94.8%	50人	35人	0人	15人	17.6%	10人	5人	0人

個別相談結果

健診時の指導	要経過観察	要精密	要治療受診勧奨	他機関管理中	計
78人	8人	0人	0人	0人	86人

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
814人	824人	818人	867人	912人

(9) 乳児健康診査

① 3～4か月児健康診査(母子保健法第13条)

身体の発育が目覚しく、定額等の発達上の指標を認めるこの時期に健診を行い、発育・発達の確認、疾病の早期発見に努めるとともに、乳児の健全な育成を図るため適切な助言指導を実施した。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	健診前月3か月に達した乳児
周知方法	健診前月に個別通知・市報
実施回数	月2回(第1・3木曜日) 年24回
健診内容	予診・身体計測・小児科診察 個別相談(保健・栄養・歯科)・集団指導(保健・栄養・歯科)
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	小児科医師・保健師・看護師・管理栄養士・歯科衛生士・事務

受診状況

回数	対象者数 (通知発送数)	受診者数	受診率	有所見者実数	有所見率	未受診者数	状況把握数	把握率	状況把握数の内容(延数)					
									健康	病気	心身障害	転出	死亡	その他
24回	973人	923人	94.9%	557人	60.3%	50人	37人	74.0%	19人	3人	2人	14人	0人	0人

診査結果

受診者数	有所見者 実数	有所見者 延数	所見内訳(延数)												
			発育	皮膚	頭頸部	顔面 口腔	眼	耳鼻 咽喉科	胸部 ・腹部	鼠径 外陰部	背部	四肢	発達 ・神経	その他	
923人	557人	688人	99人	236人	16人	8人	26人	22人	39人	16人	2人	24人	77人	123人	
有所見率			10.7%	25.6%	1.7%	0.9%	2.8%	2.4%	4.2%	1.7%	0.2%	2.6%	8.3%	13.3%	
指示 内訳	精密健診	32人	1人	1人	0人	0人	3人	4人	5人	2人	1人	15人	0人	0人	
	受診(治療)勧奨	60人	3人	44人	0人	2人	4人	3人	2人	1人	0人	0人	0人	1人	
	他機関管理中	98人	7人	42人	4人	2人	5人	4人	16人	5人	1人	2人	5人	5人	
	経過観察	105人	56人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	46人	0人	
	一時的指導	393人	32人	149人	11人	4人	13人	11人	16人	8人	0人	6人	26人	117人	

(母子保健事業報告)

個別相談結果(延数)・集団指導参加者数

区分	健診時の指導	要経過観察	その他	計	集団指導参加者数
保健	200人	130人	57人	387人	923人
栄養	10人	5人	1人	16人	
歯科	1人	0人	0人	1人	

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
822人	832人	826人	875人	923人

② 6・9か月児健康診査(母子保健法第13条)

乳児健診の一層の強化を図り疾病の早期発見に努めた。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	市内に住所を有する6～7か月児・9～10か月児
周知方法	3～4か月児健康診査時に交付
実施回数	6～7か月時1回・9～10か月時1回
健診内容	問診・身体計測・小児科診察・保健指導(栄養・生活・予防接種・事故防止等)
実施場所	都内契約医療機関

受診状況

区分	対象者数	受診票 受理数	受診率	総合判定結果 内訳(実数)				今後の指導と市町村へ の連絡事項内訳(延数)				有所 見率
				問題 なし	あり	疑い	不明	当院 で行う	市町 村で 行う	他機 関管 理中	その 他	
6～7か月児	973人	825人	84.8%	776人	36人	9人	4人	94人	4人	23人	2人	5.5%
9～10か月児	973人	813人	83.6%	772人	28人	9人	4人	101人	4人	14人	0人	4.6%

受診者数

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
6～7か月児	765人	813人	763人	799人	825人
9～10か月児	756人	765人	786人	764人	813人

(10) 乳幼児経過観察健康診査(母子保健法第13条)

一般健診の結果、経過観察が必要と判断された乳幼児に対し、定期的に健診を行い、健全な育成を図るとともに疾病の早期発見に努め、また必要に応じて継続的な指導を行った。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	3～4か月児健診、6・9か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診等の結果、経過観察健康診査が必要と判断された乳幼児
周知方法	健診月に個別通知
実施回数	月1回(第4木曜日) 年12回(発達健康診査と同時に実施)
健診内容	予診・身体計測・小児科診察・個別相談(保健・栄養)
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	小児科医師・保健師・看護師・管理栄養士・事務

受診状況

回数	受診予 約者数	受診者 数	初診・再診内訳		受診者率	初診者の 有所見者実数	初診者の 有所見率
			初診者数	再診者数			
12回	104人	86人	82人	4人	82.7%	10人	12.2%

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
73人	125人	121人	100人	86人

(11) 乳幼児発達健康診査(母子保健法第13条)

一般健診の結果、運動発達遅滞・精神発達遅滞等が疑われる乳幼児に対して、小児神経学の立場から発達に重点をおいた健診を行い疾病の発見、早期療育を実施し、継続的な指導を行った。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	3～4か月児健診、6・9か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診等の結果、発達健康診査が必要と判断された乳幼児
周知方法	健診月に個別通知
実施回数	月1回(第4木曜日) 年12回(経過観察健康診査と同時に実施)
健診内容	予診・身体計測・小児科診察・個別相談(保健・栄養)
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	専門医師・保健師・看護師・管理栄養士・事務

受診状況

回数	受診予 約者数	受診者 数	初診・再診内訳		受診者率	初診者の 有所見者実数	初診者の 有所見率
			初診者数	再診者数			
12回	18人	13人	12人	1人	72.2%	12人	100%

診査結果(初診者についてのみ)

初診者数	有所見者 実数	所見内訳(延数)				
		精神運動発達遅滞 (全体的な遅れ)		精神発達遅滞 など精神面の 問題	筋緊張の異常、 麻痺など運動面 の問題	その他
		乳児 (1歳未満)	幼児 (1歳以上)			
12人	12人	0人	3人	5人	4人	0人
指示内訳	精密健診	0人	0人	0人	0人	0人
	受診(治療)勧奨	6人	0人	1人	4人	1人
	他機関管理中	0人	0人	0人	0人	0人
	経過観察	6人	0人	2人	1人	3人
	一時的指導	0人	0人	0人	0人	0人
PT・OT指導	0人	0人	0人	0人	0人	0人

(母子保健事業報告)

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
39人	39人	38人	30人	12人

(12) 乳児精密健康診査(母子保健法第13条)

乳児健診の結果、診断の確定のため、より精密な健診が必要と判断された乳児に実施し、健診の強化を図った。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	3~4か月児健診、6・9か月児健診、先天性代謝異常等検査等で精密健康診査が必要と判断された乳幼児
周知方法	3~4か月児健診時に勧奨、6・9か月児健診後勧奨
発行回数	2回以内
健診内容	診断確定に必要な検査
実施場所	都内契約専門医療機関

診査結果

受診票発行数	結果把握率	結果把握数	依頼内容内訳(延数)											
			内科					皮膚科		眼科			耳鼻科	
			体重増加不良	心雑音	特異顔貌・変質徴候	神経学的異常発達の遅れ	その他	母斑	その他	斜視	眼脂・流涙	その他	外耳奇形	その他
34人	85.2%	29人	1人	4人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	4人
指示内訳	要治療	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人
	通院にて経過観察	14人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	家庭にて経過観察	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
	異常なし(正常範囲)	11人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	2人
	その他・不明	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
受診票発行数	結果把握率	結果把握数	依頼内容内訳(延数)											
			外科		泌尿器科			整形外科						
			鼠径ヘルニア	その他	移動牽丸・停留牽丸	陰の水腫	その他	股関節の異常	内反足	肢の異常	その他の四肢	斜頸	胸部の異常	その他
34人	85.2%	29人	0人	1人	0人	0人	1人	15人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
指示内訳	要治療	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	通院にて経過観察	0人	1人	0人	0人	1人	9人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	家庭にて経過観察	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	異常なし(正常範囲)	0人	0人	0人	0人	0人	5人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	その他・不明	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	

(母子保健事業報告)

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
21人	19人	34人	41人	29人

(13) 1歳6か月児健康診査(母子保健法第12条)

幼児初期の身体発育・精神発達の面で、歩行や言語発達の節目にあたるこの時期に総合的な健診を行い、疾病等の早期発見を図るとともに、生活習慣の自立、むし歯予防、栄養等育児に関する助言指導を実施し、幼児の健全育成を図った。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	健診前月1歳6か月に達した幼児
周知方法	健診前月に個別通知・市報
実施回数	月2回(第1・3火曜日) 年24回
健診内容	予診・身体計測・小児科診察・歯科診察 個別相談(心理・保健・栄養・歯科)・集団指導(保健・栄養・歯科)
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	医師・歯科医師・心理相談員・保健師・看護師・管理栄養士・歯科衛生士・事務

受診状況

回数	対象者数	受診者実数	受診率	有所見者実数	有所見率
24回	863人	813人	94.2%	199人	24.4%

診査結果

受診者数	有所見者実数	有所見者延数	所見内訳(延数)												
			発育	皮膚	頭頸部	顔面	眼	耳	胸部	腹部	鼠径外陰部	四肢	神経	知的情緒	その他
813人	199人	227人	33人	72人	5人	2人	7人	7人	7人	6人	24人	10人	9人	19人	26人
指示内訳	医師による健診時指導	92人	16人	17人	2人	1人	2人	0人	2人	5人	13人	5人	3人	9人	17人
	経過観察	28人	12人	2人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	3人	1人	3人	6人	0人
	要精密検査	14人	0人	4人	0人	0人	1人	1人	1人	0人	4人	0人	1人	1人	1人
	要治療	36人	1人	22人	0人	1人	1人	3人	0人	0人	1人	2人	1人	1人	3人
加療中	57人	4人	27人	2人	0人	3人	3人	4人	1人	3人	2人	1人	2人	5人	

個別相談結果・集団指導参加者数

区分	健診時指導	要経過観察	要精密	受診勧奨	他機関管理中	計	集団指導参加者数
保健	139人	72人	14人	0人	0人	225人	225人
栄養	108人	1人	0人	0人	0人	109人	
心理発達	19人	100人	0人	0人	0人	119人	
歯科	96人	3人	0人	0人	0人	99人	
小児科	362人	176人	0人	0人	0人	538人	

歯科健康診査

実施回数	対象者数	受診者数	受診率	むし歯のない者	むし歯のある者	有病者率	むし歯総数	現在歯数	咬合異常のある者	軟組織異常のある者	他の異常のある者
24回	859人	813人	94.6%	806人	7人	0.9%	18本	11,658	61人	57人	69人

内訳

むし歯のない者		むし歯のある者			むし歯の総数	
O <sub>1</sub>	O <sub>2</sub>	A型	B型	C型	処置歯数	未処置歯数
430人	376人	6人	0人	1人	1本	17本

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
819人	805人	827人	783人	813人

(14) 1歳6か月児経過観察健康診査(心理)(母子保健法第12条)

1歳6か月児健診の結果、心理発達面及び言語発達面等で経過観察が必要とされた幼児に対して、個別または集団遊びを通して観察し、継続的な助言指導を行った。

① 個別

実施方法

開始年度	昭和58年度
対象者	1歳6か月児健診の結果、経過観察健康診査が必要と判断された幼児
周知方法	1歳6か月児健診時に勧奨
実施回数	月2回 年24回
実施内容	個別相談・発達テスト
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	心理相談員・保健師

受診状況

回数	受診予約者数	受診者数	初診・再診内訳		受診率
			初診者数	再診者数	
24回	118人	91人	48人	43人	77.1%

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
87人	78人	126人	111人	91人

② 集団(コアラの会)

実施方法

開始年度	平成3年度
対象者	1歳6か月児健診の結果、経過観察健康診査が必要と判断された幼児
周知方法	1歳6か月児健診時に勧奨
実施回数	月1回 年12回
実施内容	グループ遊びを通して発達観察を行い、専門家の指導・助言を行う
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	心理相談員・保健師・保育士
実施人数	実数 20人 延数 114人 (幼児のみ)

「コアラの会」月例遊びのテーマ

4月	新聞紙であそぼう	10月	ミニ運動会
5月	ボールであそぼう	11月	フィンガーペインティング
6月	ダンボールであそぼう	12月	プレイバルーンとピンポン玉
7月	シャボン玉	1月	たこを作ってあげちゃおう
8月	水あそび	2月	お手玉とくつつくあそび
9月	風船であそぼう	3月	小麦粉粘土

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
168人	120人	119人	118人	114人

(15) 1歳6か月児精密健康診査(母子保健法第12条)

1歳6か月健診の結果、診断の確定のため、より精密な健診が必要と判断された幼児に実施し、健診の強化を図った。

実施方法

開始年度	昭和58年度
対象者	1歳6か月児健診で精密健康診査が必要と判断された幼児
周知方法	1歳6か月児健診時に勧奨
発行回数	制限なし
健診内容	診断確定に必要な検査
実施場所	都内契約専門医療機関

診査結果

受診票発行数	結果把握率	結果把握数	依頼内容内訳(延数)											
			内科				皮膚科		眼科		耳鼻科		外科	
			低身長	心雑音	大泉門未閉	その他	母斑	その他	斜視	その他	聴覚の異常	その他	鼠径ヘルニア	その他
14人	92%	13人	0人	1人	0人	1人	2人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	1人
指示内訳	要治療	3人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
	通院にて経過観察	7人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人
	家庭にて経過観察	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	異常なし(正常範囲)	2人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	その他・不明	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
指示内訳	依頼内容内訳(延数)													
	泌尿器科			整形外科				精神・言語			未歩行	その他		
	停留睾丸・移動	包茎	その他	X脚	その他の四肢の異常	胸郭の異常	その他	精神発達遅滞	言語発達遅滞	その他				
	3人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	
	要治療	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
通院にて経過観察	2人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人		
家庭にて経過観察	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
異常なし(正常範囲)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
その他・不明	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
10人	10人	10人	10人	14人

(16) 3歳児健康診査(母子保健法第12条)

身体発育及び精神発達の面から最も重要なこの時期に心理・視覚・聴覚などを含めた総合的な健診を行い、疾病等の早期発見を図るとともに、生活習慣の自立、むし歯予防、栄養等育児に関する助言指導を実施し、幼児の健全育成を図った。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	健診前月3歳に達した幼児
周知方法	健診前月に個別通知・市報
実施回数	月2回(第2・4水曜日) 年24回
健診内容	予診・身体計測・検尿・小児科診察・歯科診察・視力・聴覚 個別相談(心理・保健・栄養・歯科・聴覚)・集団指導(保健・栄養・歯科)
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	医師・歯科医師・心理相談員・保健師・看護師・管理栄養士・歯科衛生士 視能訓練士・臨床検査技師・事務

受診状況

回数	対象者数	受診者実数	受診率	有所見者実数	有所見率	未受診者数	状況把握数	把握率	状況把握数内訳(延数)			
									健康	病気	心身障害	不明
24回	838人	793人	94.6%	330人	41.6%	45人	33人	73.3%	14人	0人	2人	17人

診査結果

受診者数	有所見者実数	有所見者延数	所見内訳(延数)													
			発育	皮膚	頭頸部・顔面・口腔	眼	耳鼻咽喉	胸部腹部	鼠径外陰部	背部四肢	運動	精神	言語	日常習慣	その他	尿蛋白陽性
793人	330人	380人	34人	73人	5人	52人	13人	31人	38人	20人	4人	14人	25人	13人	58人	0人
指示内訳	有所見率		4.3%	9.2%	0.6%	6.6%	1.6%	3.9%	4.8%	2.5%	0.5%	1.8%	3.2%	1.6%	7.3%	0.0%
	精密健診	60人	0人	1人	1人	31人	1人	9人	15人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	受診(治療)勧奨	19人	0人	8人	1人	4人	1人	2人	2人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	他機関管理中	63人	1人	27人	0人	4人	2人	9人	7人	5人	1人	1人	2人	1人	3人	0人
	経過観察	9人	2人	3人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	2人	0人
一時的指導	229人	31人	34人	3人	13人	9人	11人	13人	14人	1人	12人	23人	12人	53人	0人	

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
853人	833人	777人	738人	793人

視力・聴覚受診状況

区分	受診者数	異常なし	要再検査	要精密	その他	要精密率
視力	793人	749人	7人	34人	3人	4.3%
聴覚	793人	790人	2人	1人	0人	0.1%

心理相談結果

受診者数	心理相談受診者実数	心理相談受診率	相談項目総数(延数)	相談項目内訳(延数)										
				問題なし	精神発達の問題	ことばの問題	くせの問題	行動・性格の問題	社会性の問題	生活習慣の問題	養育者の問題	家庭・環境の問題	疾患・障害の問題	その他
793人	86人	10.8%	215人	1人	19人	47人	2人	25人	32人	8人	31人	28人	22人	0人
結果内訳	要精密		0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	要継続		149人	0人	13人	37人	2人	13人	26人	5人	18人	16人	19人	0人
	助言のみ		66人	1人	6人	10人	0人	12人	6人	3人	13人	12人	3人	0人
	特になし		0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

(母子保健事業報告)

個別相談結果・集団指導参加者数

区分	健診時指導	要経過観察	その他	計	集団指導参加者数
保健	65人	69人	0人	134人	707人
栄養	53人	0人	0人	53人	
心理発達	34人	52人	0人	86人	
聴覚	123人	3人	0人	126人	
歯科	81人	0人	0人	81人	
視力	189人	38人	0人	227人	

歯科健康診査

実施回数	対象者数	受診者数	受診率	むし歯のない者	むし歯のある者	有病者率	むし歯総数	現在歯数	咬合異常のある者	軟組織異常のある者	他の異常のある者
24回	838人	793人	94.6%	678人	120人	15.0%	429本	15,841本	61人	3人	103人

内訳

むし歯のある者				むし歯の総数	
A型	B型	C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	処置歯数	未処置歯数
86人	23人	1人	10人	68本	361本

(17) 3歳児経過観察健康診査(心理)(母子保健法第12条)

3歳児健診の結果、言葉の遅れや行動等の心理発達について経過観察が必要とされた幼児に対して個別又は集団遊びを通して観察し断続的な助言指導を行った。

① 個別

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	3歳児健診で経過観察健康診査が必要と判断された幼児
周知方法	3歳児健診時に勧奨
実施回数	月1回 年12回
実施内容	個別相談・発達テスト
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	心理相談員・保健師・保育士

受診状況

回数	受診予約者数	受診者数	初診・再診内訳		受診率	初診者の 有所見者実数	初診者の 有所見率
			初診者数	再診者数			
12回	93人	77人	38人	39人	82.8%	28人	73.7%

心理相談結果

受診者数	相談項目 総数(延数)	相談項目内訳(延数)										
		問題なし	精神発達の問題	ことばの問題	くせの問題	行動・性格の問題	社会性の問題	生活習慣の問題	養育者の問題	家庭・環境の問題	疾患・障害の問題	その他
77人	254人	0人	24人	47人	11人	46人	29人	16人	30人	21人	7人	23人
結果内訳	要精密	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	要継続	182人	0人	21人	31人	3人	36人	24人	11人	26人	14人	4人
	助言のみ	72人	0人	3人	16人	8人	10人	5人	5人	4人	7人	3人
	特になし	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

(母子保健事業報告)

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
63人	72人	77人	80人	77人

② 集団(パンダの会)

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	3歳児健診の結果、経過観察健康診査が必要と判断された幼児
周知方法	3歳児健診時に勧奨
実施回数	月1回 年12回
実施内容	グループ遊びを通して発達観察を行い、専門家の指導・助言を行う
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	心理相談員・保健師・保育士
実施人数	実数 15人 延数 80人

「パンダの会」月例遊びのテーマ

4月	新聞紙遊び	10月	運動会
5月	ボール遊び	11月	小麦粉粘土
6月	牛乳パックびっくり箱	12月	リースづくりクリスマス会
7月	色で遊ぼう	1月	お正月あそび
8月	魚つり	2月	自由につくろう
9月	リトミック	3月	王冠づくり、卒業式

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
106人	94人	133人	119人	80人

(18) 3歳児精密健康診査(母子保健法第12条)

3歳児健診の結果、診断の確定のため、より精密な健診が必要と判断された幼児に実施し、健診の強化を図った。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	3歳児健診で精密健康診査が必要と判断された幼児
周知方法	3歳児健診時に勧奨
発行回数	制限なし
健診内容	診断確定に必要な検査
実施場所	都内契約専門医療機関

診査結果

受診票発行数	結果把握率	結果把握数	依頼内容内訳(延数)												
			内科					皮膚科		眼科			耳鼻科		外科
			低身長	心雑音	尿蛋白陽性	蛋白以外の尿の異常	その他	母斑	その他	視力の異常	斜視	その他	聴覚の異常	その他	ヘルニア 鼠径
68人	97.1%	66人	0人	8人	0人	6人	0人	1人	0人	29人	2人	1人	1人	0人	1人
指示内訳	要治療	10人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	5人	0人	0人	0人	0人	1人
	通院にて経過観察	31人	0人	1人	0人	5人	0人	0人	0人	18人	1人	0人	0人	0人	0人
	家庭にて経過観察	5人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	異常なし(正常範囲)	10人	0人	4人	0人	1人	0人	0人	0人	2人	0人	1人	0人	0人	0人
	その他・不明	10人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	3人	1人	0人	1人	0人	0人
指示内訳			外科	泌尿器科			整形外科			精神・言語			その他		
			その他	停留 移動 率丸・	包茎	その他	X脚	その他 の四 肢の 異常	胸郭 の異 常	その他	精神 発達 遅滞	言語 発達 遅滞	その他	その他	
			0人	9人	4人	1人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
	要治療		0人	2人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	通院にて経過観察		0人	2人	2人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
家庭にて経過観察		0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
異常なし(正常範囲)		0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
その他・不明		0人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	

(母子保健事業報告)

診査結果(視力)

視力検査受診者数	精密検査受診票発行数	結果把握数	結果把握率	結果内訳										弱視発見率		
				異常なし	有所見者実数	有所見内訳(実数)										
						弱視あり					弱視なし又は弱視の有無不明					
						不同視弱視	斜視弱視	屈折弱視	不明の 種類・ その他	斜視(偽内斜視を除く)	屈折異常	その他の疾患				
793人	34人	27人	79.4%	1人	24人	3人	2人	5人	0人	0人	14人	0人	2人	1.3%		

(母子保健事業報告)

診査結果(聴覚)

聴覚検診受診者数	精密検診受診票発行数	結果把握数	結果把握率	結果内訳										感音難聴発見率	難聴発見率	
				有所見内訳(実数)												
				異常なし	有所見者実数	感音難聴	滲出性中耳炎			言語発達遅滞		その他の疾患				結果不明・受診中断等
							難聴あり	難聴の有無不明	難聴なし又は不明	難聴なし又は不明	難聴あり	難聴の有無不明				
793人	1人	1人	100%	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0%	0%

(母子保健事業報告)

受診者数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
80人	54人	70人	67人	66人

(19) 母子保健推進事業(子育て支援)

安心して子どもを産み育てていけるような環境整備を、社会全体の取組みとして実践していくことが重要である。健診事業と併せて子育て支援として、小金井市保健センターで実施するほか、地域へ出向いて健康相談、保健相談等を行うなど母子保健の推進を図った。

① 乳幼児保健相談

保健センター内で保健相談を実施するほか、市内の東区域と南区域の公共施設を利用し、生活に身近な地域で、気軽に足を運び育児相談が受けられるよう実施した。

実施方法

開始年度	昭和62年度
対象者	生後3ヶ月～6歳未満児
周知方法	母と子の保健バッグ・市報・健診時等
申込方法	直接会場参加
実施回数	各会場月1回 年12回
実施内容	身体計測・育児及び保健相談
実施場所	公民館東分館・公民館貫井南分館
実施体制	保健師・看護師・事務

受診状況

区分	乳児		幼児		計	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数
公民館東分館	67人	179人	32人	106人	99人	285人
公民館貫井南分	38人	107人	13人	71人	51人	178人
計	105人	286人	45人	177人	150人	463人

利用者数(延数)

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
回数	24回	24回	24回	22回	24回
実施人数	429人	518人	584人	480人	463人

## ② 母子栄養強化扶助

母体の健康を保持し、胎児及び出産後の乳児を健全に成長させるため、十分な栄養を補充することが必要である。栄養強化の援助を必要とする妊産婦及び乳児に対し、牛乳又は粉ミルクを支給し、母子における心身の健全な育成を図った。

### 実施方法

開始年度	昭和44年度
対象者	①生活保護世帯の妊産婦及び乳児 ②市民税非課税世帯の妊産婦及び乳児 ③所得税非課税世帯の妊産婦及び乳児 なお、乳児については①～③のいずれかに該当し、かつ健康診査等の結果、医師により栄養強化が必要と認められた方
周知方法	母と子の保健バッグ・市報・両親学級等
申込方法	本人申請
支給期間	妊婦：申請受理の翌月から出産月の末日まで 産婦：出産月の翌月から3か月間 乳児：出生後4か月目から9か月間
実施体制	牛乳：市内牛乳組合と契約し、1日1本を支給 粉ミルク：1か月大缶1.5缶を支給

### 実施状況

区分	支給延人数			支給実人数	支給延日数		
	妊婦	産婦	乳児		妊産婦	乳児	計
牛乳	11人	12人	0人	13人	2,217日	0日	2,217日
粉ミルク	0人	0人	0人		0日	0日	0日
計	11人	12人	0人		2,217日	0日	2,217日

### 実施状況

年度		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
支給延人数	妊産婦	18人	13人	7人	7人	23人
	乳児	0人	0人	0人	0人	0人
	計	18人	13人	7人	7人	23人
支給延日数	妊産婦	1,808日	1,461日	1,525日	839日	2,217日
	乳児	0日	0日	0日	0日	0日
	計	1,808日	1,461日	1,525日	839日	2,217日

## ③ ブックスタート事業

乳児と保護者が絵本を介して触れあい、楽しいひとときを持つことを支援するために、地域ボランティアによるブックスタートの趣旨等の説明とともに絵本等を配布した。

### 実施方法

開始年度	平成15年度(平成15年11月6日開始)
対象者	3～4か月児健康診査受診者
周知方法	市報・健診案内時
実施回数	月2回 3～4か月児健康診査と同時実施
実施内容	対象者にブックスタートバックを配布、ボランティアによるブックスタート運動についての説明
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	ボランティア

### 実施状況

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
実施回数	24回	24回	24回	24回	24回
参加人数	822人	832人	826人	875人	923人

## (20) 乳幼児健康相談

核家族化の進行の中で育児不安を解消するため、日常的に継続して相談できる場として、乳幼児の成長に合わせた広範囲にわたる個別健康相談を実施した。

### 実施方法

開始年度	昭和43年度 健康相談所開設に伴い開始 平成9年度健康相談所廃止、小金井市保健センター設置に伴い事業整備、新体制により実施
対象者	乳幼児
周知方法	母と子の保健バッグ・市報・各種保健衛生事業の案内
申込方法	電話予約
実施回数	週2回(月・木曜日)
実施内容	身体計測・育児及び保健相談
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	保健師

### 実施状況

区分	乳児	幼児	計
延数	206人	285人	491人

### 主な相談内容と延数

生活リズム	34人	発達	28人	育児環境	17人	
食事	52人	児の病気	17人	歯	3人	
おっぱい	118人	しつけ・くせ	17人	各種紹介	2人	
予防接種	27人	母の体調	20人	その他	1人	
発育	92人	保育	14人	妊婦の相談	9人	
					相談延数	451人

### 実施状況

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
相談回数	96回	96回	93回	94回	94回
相談人数	835人	732人	573人	509人	491人

## (21) 出張健康相談・歯科健康相談

医師・歯科医師・保健師・看護師等が、市内の公共施設で健康相談を行い、乳幼児の健康の保持増進を図った。

### 実施方法

開始年度	昭和33年度
対象者	乳幼児・一般市民
周知方法	母と子の保健バッグ・市報・健診時等
申込方法	医師による相談は電話予約制 計測・保健相談は直接会場参加
実施回数	出張健康相談20回・歯科健康相談12回
実施内容	健康相談・歯科相談・身体計測・育児及び保健相談
実施場所	婦人会館・福社会館・保健センター
実施体制	医師・歯科医師・保健師・看護師・事務

### 実施状況

区分	医科		保健相談		身体計測		計		合計
	乳児	幼児	乳児	幼児	乳児	幼児	乳児	幼児	
婦人会館	16人	1人	46人	19人	16人	36人	78人	56人	134人
福社会館	2人	1人	29人	14人	27人	21人	58人	36人	94人
計	18人	2人	75人	33人	43人	57人	136人	92人	228人

### 実施状況

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
医科	30人	14人	13人	31人	20人
歯科	45人	26人	21人	19人	13人

## 2. 成人保健事業

### (1) 健康手帳の交付(健康増進法第17条の1)

各種健(検)診の記録、その他の健康保持に必要な事項を記載し、自らの健康管理と医療の確保に役立てるために交付した。平成8年度には医療の記録を補足するページが追加され、必要に応じ医療機関、薬局、老人保健施設等において療養上必要と認められる事項が記載できるように改正した。

#### 実施方法

開始年度	昭和57年度
対象者	40歳以上の市民
交付方法	窓口・健(検)診時交付

#### 交付状況

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
2,000冊	2,300冊	713冊	2,000冊	1,987冊

※平成19年度までは、75歳以上の医療対象者にも配布

### (2) 独自健康診査(健康増進法第19条の2)

生活習慣病の予防及び早期発見を目的として、各種健(検)診を実施した。

平成20年度から医療制度改正により基本健康診査が廃止され、各医療保険者が特定健康診査(75歳以上は後期高齢者医療健康診査)を実施することとなった。

これに伴い、健康増進法に基づく健康増進事業として、市独自の健康診査を実施した。

#### ① フォロー健康診査

従来の基本健康診査の検査項目のうち特定健康診査等の検査項目に含まれないものについて、検査項目を上乗せして実施した。

#### 実施方法

開始年度	平成20年度
対象者	特定健康診査及び後期高齢者医療健康診査の受診者、40歳以上の集団健康診査の受診者
周知方法	個別通知・市報・ホームページ
健診内容	胸部レントゲン検査・尿酸・クレアチニン・白血球・赤血球・血色素・ヘマトクリット・心電図・眼底検査等
実施場所	市内契約医療機関

#### 受診状況

区分		平成20年度	平成21年度
受診者	40歳以上の小金井市国民健康保険加入者	8,827人	9,155人
	後期高齢者医療保険加入者	6,380人	6,134人
	40歳以上の上記以外の医療保険加入者及び集団健診受診者	795人	875人

## ② 集団健康診査

35歳以上40歳未満の市民及び40歳以上で特定健康診査等の対象とならない市民を対象に、集団方式で特定健康診査の基本項目と同様な内容で実施した。

### 実施方法

開始年度	平成20年度
対象者	35歳以上40歳未満の市民及び40歳以上で特定健康診査等の対象とならない市民
周知方法	市報及びホームページで周知
健診内容	問診・理学的検査・身体計測・血圧測定・血中脂質検査・肝機能検査・血糖検査・尿検査 ※肺がん・結核検診同時実施
実施回数	年1回
実施場所	小金井市保健センター

### 受診状況

区分		平成20年度	平成21年度
受診者	35歳以上40歳未満の者	100人	82人
	40歳以上で医療保険に未加入の者	28人	37人
	40歳以上で年度途中で医療保険が変わった者	90人	55人

## ③ 肝炎ウイルス検診

国のC型肝炎等緊急総合対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、住民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識するため、C型・B型肝炎ウイルス検査を実施した。

### 実施方法

開始年度	平成14年度
対象者	・40歳の市民 ・41歳以上で、当該年度の特定健康診査等で肝機能異常を指摘された市民 ・41歳以上で、過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない市民
実施方法	集団：集団健康診査と同時実施。 個別：特定健康診査及び後期高齢者医療健康診査と同時実施、単独実施も可能
周知方法	市報及びホームページで周知 40歳の市民へ勧奨通知 集団健康診査対象者には検診案内を送付
検診内容	C型・B型肝炎ウイルス検査
実施場所	集団：小金井市保健センター 個別：市内契約医療機関

### 受診状況及び検査結果

区分		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		
		節目	節目外	節目	節目外	節目	節目外	節目	節目外	節目	節目外	
対象者		3,716人		3,126人		544人		651人		632人		
受診者数	C型 +B型	2,098人	48人	2,251人	25人	103人	227人	29人	1,135人	170人	1,148人	
	C型のみ	8人	0人	9人	5人	2人	128人	0人	36人	0人	9人	
	B型のみ	45人	0人	43人	0人	0人	0人	0人	3人	0人	1人	
	計	2,151人	48人	2,303人	30人	105人	355人	29人	1,174人	170人	1,158人	
判定結果	C型	判定①(陽性)	5人	1人	4人	0人	0人	3人	0人	4人	0人	3人
		判定②(陽性)	1人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	2人	0人	6人
		判定③(陽性)	1人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		判定④(陰性)	13人	0人	23人	0人	0人	9人	0人	11人	2人	11人
		判定⑤(陰性)	2,086人	46人	2,230人	29人	105人	341人	29人	1,154人	168人	1,137人
	B型	陽性	7人	0人	24人	0人	0人	3人	1人	8人	1人	9人
	陰性	2,136人	48人	2,270人	25人	103人	224人	28人	1,130人	169人	1,140人	

※ C型肝炎の判定結果について

①、⑤は一次検査によりそれぞれ陽性、陰性と判定されたもの、②は二次検査により陽性と判定されたもの、③、④は三次検査によりそれぞれ陽性、陰性と判定されたものを示す。

《参考資料》 (平成20年度に医療制度改正により廃止)

**基本健康診査(旧老人保健法第16条)**

がん、心臓病、脳卒中、糖尿病等生活習慣病の予防の一環として、これらの疾患の早期発見を図るとともに、単に医療を必要とする方の発見にとどまらず、健診の結果必要な方には、栄養や運動に関する保健指導を実施し、壮年期からの健康についての認識と自覚を高めるため実施した。

実施方法

開始年度	昭和45年度
対象者	35歳以上
実施方法	35～55歳:集団健診 56歳以上:個別健診(訪問あり)
周知方法	35～55歳:市報、5歳刻みの対象者には勸奨通知 56歳以上:個別通知
健診内容	問診・身体計測・理学的検査・血圧測定・検尿・循環器検査・貧血検査・肝機能検査・腎機能検査・血糖検査・胸部レントゲン検査等
実施場所 及び 受診回数	35～55歳:小金井市保健会場 年1回受診※ 56歳以上:小金井市・国分寺市・小平市の契約医療機関 年1回受診 ※集団健診は年3回開催しており、年度で1回の受診ができる

受診状況(35歳以上の障害者健康診査受診者も含む)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
対象者	24,303人	21,057人	21,459人	21,763人	22,134人
受診者	17,211人	17,431人	17,264人	17,943人	17,615人
受診率	70.8%	82.8%	80.5%	82.5%	79.6%
異常認めず	1,848人	5,019人	1,522人	1,447人	1,358人
要指導	5,597人	4,342人	3,720人	5,416人	5,512人
要医療	9,766人	8,070人	12,022人	11,080人	10,745人

主な検査結果(35歳以上の障害者健康診査受診者も含む)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
血圧(※1)	9,500人	10,731人	11,462人	10,185人	13,442人
総コレステロール(※1)	11,901人	8,244人	9,577人	8,465人	7,331人
糖尿病(※1)	6,142人	5,135人	4,334人	5,308人	5,828人
貧血(※2)	1,051人	1,309人	1,465人	1,711人	1,453人
肝疾患(※2)	1,799人	1,886人	2,513人	1,862人	2,692人
腎機能障害(※2)	1,989人	1,752人	1,772人	2,424人	1,927人
たばこ吸っていない	13,111人	14,092人	15,309人	14,162人	13,744人
たばこ吸っている(20本未満)	1,017人	1,031人	1,037人	1,072人	1,038人
たばこ吸っている(20本以上)	652人	800人	833人	700人	680人

(※1)は要指導と要医療の計 (※2)は疑いを含む

**生活習慣改善指導**

基本健康診査(35～55歳)の結果、要指導となった方に対し、検査結果の説明・相談・指導を実施した。

実施状況

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
回数	20人	18人	15人	15人	10人
実施人数	133人	140人	148人	118人	82人

**精密健康診査**

基本健康診査(35～55歳)の結果、精密健康診査が必要な方には生活習慣改善指導を行い、精密診査受診票を発行した。

実施方法

開始年度	昭和45年度
発行回数	1回
実施場所	市内契約医療機関

受診者数

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
56人	69人	13人	25人	12人

### (3) 障害者健康診査

16歳以上40歳未満で心身に障害のある方を対象に、集団方式で特定健康診査の基本項目と同様な内容で実施した。

※平成20年度から医療制度改正により40歳以上は特定健康診査等の対象となるため除外

実施方法

開始年度	平成元年度
対象者	16歳以上40歳未満で心身に障害のある市民(平成19年度までは40歳以上も対象)
周知方法	市報及びホームページで周知
実施回数	年1回(集団健康診査と同時実施)
健診内容	問診・理学的検査・身体計測・血圧測定・血中脂質検査・肝機能検査・血糖検査・尿検査 ※結核検診同時実施
実施場所	小金井市保健センター

受診状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
受診者	56人	54人	68人	40人	43人
異常認めず	6人	9人	16人	19人	15人
要指導	36人	27人	31人	15人	22人
要医療	14人	18人	21人	6人	6人

### (4) 胃がん検診

がんは、早期に発見し治療に結びつけることが予防対策上最も重要であるといわれている。このため、胃がんの早期発見を目的として検診を実施した。

実施方法

開始年度	昭和47年度
対象者	35歳以上の市民
周知方法	市報・35～65歳の5歳刻みの対象者には勧奨通知
実施回数	年3回
検診内容	胃集団検診車による胃部レントゲン間接撮影
実施場所	市内公共施設等

受診状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
対象者	40,657人	37,485人	37,846人	38,949人	39,591人
受診者	1,457人	1,488人	1,214人	1,692人	1,697人
受診率	3.6%	4.0%	3.2%	4.3%	4.3%
異常認めず	1,265人	1,311人	1,069人	1,474人	1,540人
要精密	192人	177人	145人	218人	157人
胃がん	0人	0人	1人	2人	3人

平成21年度要精密疾患別内訳

疾患名等	異常なし	胃がん(疑)	胃炎	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃下垂	胆石	胃ポリープ	胃潰瘍癒痕	癒痕 十二指腸潰瘍	その他	未受診	延計
延人数	5人	3人	77人	13人	2人	0人	0人	23人	18人	4人	20人	26人	191人

※重複疾患あり ※結果把握できたものみの計

## (5) 子宮がん検診

がんは、早期に発見し治療に結びつけることが予防対策上最も重要であるといわれている。このため、子宮がんの早期発見を目的として検診を実施した。女性特有のがん検診推進事業として、当該年度4月1日現在20歳から40歳の5歳刻みの女性に、子宮頸がん無料クーポン券及びがん検診手帳等を個別に送付した。

### ① 子宮頸がん検診

実施方法

開始年度	昭和49年度
対象者	20歳以上の市民(隔年受診)
周知方法	市報・30～65歳の5歳刻みの対象者には勸奨通知
実施回数	年3回
検診内容	問診・細胞診
実施場所	小金井市・国分寺市契約医療機関

受診状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
対象者	36,785人	30,145人	29,700人	30,730人	30,979人
受診者	1,759人	1,773人	1,880人	1,977人	2,782人 (935人)
受診率	4.8%	11.7%	12.3%	12.6%	15.0%
異常認めず	1,744人	1,763人	1,873人	1,952人	2,761人
要精密	15人	10人	7人	25人	20人
子宮頸がん	1人	1人	0人	1人	0人
判定不能	6人	0人	0人	0人	1人

※受診者のうち( )内は女性特有のがん検診推進事業対象者

※受診率=(前年度受診者数+当該年度受診者数-重複受診者)/当該年度対象者数 【平成21年度～】

平成21年度年齢別検診結果

年齢区分	細胞診						判定不能	計
	I	II	IIIa	IIIb	IV	V		
20歳代	180人	170人	7人	0人	0人	0人	0人	357人
30歳代	389人	418人	5人	2人	0人	0人	0人	814人
40歳代	339人	356人	3人	0人	1人	0人	1人	700人
50歳代	87人	317人	2人	0人	0人	0人	0人	406人
60歳代	35人	364人	0人	0人	0人	0人	0人	399人
70歳代	9人	86人	0人	0人	0人	0人	0人	95人
80歳代	0人	11人	0人	0人	0人	0人	0人	11人
90歳代	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	1,039人	1,722人	17人	2人	1人	0人	1人	2,782人

※I・II:陰性 IIIa・IIIb:疑陽性 IV・V:陽性

### ② 子宮体がん検診

実施方法

開始年度	昭和63年度
対象者	ア 頸がん検診を受けた方 イ 閉経後の方で6か月以内に不正出血のみられた方 ウ 月経不順の方
周知方法	市報・30～65歳の5歳刻みの対象者には勸奨通知
実施回数	年3回
検診内容	問診・細胞診
実施場所	小金井市・国分寺市契約医療機関

受診状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
対象者	36,785人	30,145人	29,700人	30,730人	30,979人
受診者	83人	129人	388人	234人	243人
受診率	0.2%	0.7%	1.7%	2.0%	1.5%
異常認めず	83人	126人	387人	234人	224人
要精密	0人	3人	1人	0人	2人
子宮体がん	0人	0人	0人	0人	0人
判定不能	0人	0人	0人	0人	17人

※受診率=(前年度受診者数+当該年度受診者数)/当該年度対象者数 【平成18年度～】

平成21年度年齢別検診結果

年齢区分	細胞診			判定不能	計
	陰性	疑陽性	陽性		
20歳代	1人	0人	0人	0人	1人
30歳代	20人	0人	0人	3人	23人
40歳代	60人	0人	0人	5人	65人
50歳代	83人	2人	0人	6人	91人
60歳代	53人	0人	0人	2人	55人
70歳代	7人	0人	0人	1人	8人
年齢不詳	0人	0人	0人	0人	0人
計	224人	2人	0人	17人	243人

(6) 乳がん検診

がんは、早期に発見し治療に結びつけることが予防対策上最も重要であるといわれている。このため、乳がんの早期発見を目的として検診を実施した。女性特有のがん検診推進事業として、当該年度4月1日現在40歳～60歳の5歳刻みの女性に、乳がん検診無料クーポン券及びがん検診手帳等を個別に送付した。

① マンモグラフィ

実施方法

開始年度	平成16年度
対象者	40歳以上の市民(隔年受診)
周知方法	市報
実施回数等	集団:年6回 個別:3医療機関
検診内容	視診・触診・マンモグラフィ
実施場所	集団:小金井市保健センター 個別:契約医療機関

受診状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
			集団	個別	集団	個別	集団	個別
対象者	24,015人	19,543人	19,672人		20,245人		20,637人	
受診者	716人	1,018人	1,265人	170人	1,412人	354人	1,623人 (443人)	1,042人 (821人)
受診率	5.3%	8.9%	12.5%		15.8%		20.7%	
異常認めず	666人	967人	1,192人	112人	1,355人	298人	1,554人	878人
要精密	50人	51人	73人	39人	57人	19人	69人	164人
乳がん	0人	3人	1人	0人	7人	1人	2人	3人

※受診者のうち( )内は女性特有のがん検診推進事業対象者

※受診率=(前年度受診者数+当該年度受診者数-重複受診者)/当該年度対象者数 【平成21年度～】

② 視・触診

実施方法

開始年度	昭和59年度
対象者	25～39歳の市民
周知方法	市報
実施回数	年1回
検診内容	視診・触診
実施場所	市内契約医療機関

受診状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
対象者	10,969人	8,630人	8,645人	8,991人	8,894人
受診者	135人	143人	258人	184人	219人
受診率	1.2%	1.7%	3.0%	2.1%	2.5%
異常認めず	129人	124人	240人	161人	206人
要精密	6人	19人	18人	23人	13人
乳がん	0人	0人	0人	0人	0人

平成21年度年齢別検診結果内訳

年齢区分	受診者数	要精密者数
25～29歳	47人	4人
30～39歳	172人	9人
計	219人	13人

### (7) 肺がん検診

がんは、早期に発見し治療に結びつけることが予防対策上最も重要であるといわれている。このため、肺がんの早期発見を目的として検診を実施した。

#### 実施方法

開始年度	昭和63年度
対象者	40歳以上の市民
周知方法	市報
実施回数	年1回
検診内容	胸部レントゲン直接撮影 喀痰細胞診(医師による問診の結果必要と認められた者)
実施場所	小金井市保健センター

#### 受診状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
対象者	38,496人	31,826人	32,328人	33,064人	33,693人
受診者	178人	174人	214人	207人	191人
受診率	0.46%	0.55%	0.66%	0.63%	0.57%
異常認めず	172人	163人	196人	203人	178人
要精密	6人	11人	18人	4人	13人
肺がん	0人	0人	0人	0人	0人

### (8) 大腸がん検診

がんは、早期に発見し治療に結びつけることが予防対策上最も重要であるといわれている。このため、大腸がんの早期発見を目的として検診を実施した。

#### 実施方法

開始年度	平成2年度
対象者	40歳以上の市民
周知方法	市報
実施回数	年1回
検診内容	免疫学的便潜血2日法
実施場所	市内契約医療機関

#### 受診状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
対象者	38,496人	36,818人	36,010人	38,248人	38,976人
受診者	4,381人	4,511人	4,934人	4,827人	5,286人
受診率	11.4%	12.3%	13.7%	12.6%	13.6%
異常認めず	3,999人	4,128人	4,528人	4,403人	4,866人
要精密	382人	383人	406人	424人	420人
大腸がん	10人	12人	14人	26人	16人

#### 平成21年度要精密疾患別内訳

疾患名等	異常なし	(大腸がん) 疑がん	未受診	その他	不明	延計
延人数	90人	31人	70人	150人	79人	420人

※結果把握できた場合のみ計上。

### (9) 骨粗しょう症検診

平成6年度より骨に対する啓発事業として骨密度測定を実施してきたが、平成9年度からは「骨粗しょう症検診」として実施。

#### 実施方法

開始年度	平成6年度
対象者	35～70歳の5歳刻みの節目年齢の女性
周知方法	市報
実施回数	年1回
検診内容	DEX方式・橈骨の遠位1/3測定
実施場所	小金井市保健センター

受診状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
申込者	171人	164人	206人	197人	209人
受診者	148人	143人	179人	173人	177人
正常	76人	76人	91人	66人	88人
要精検	52人	52人	28人	38人	51人
要指導	20人	15人	60人	69人	38人
計	148人	143人	179人	173人	177人

※測定結果は、検診機関の判定区分

(10) 健康づくりフォローアップ指導

疾病構造変化の中で、栄養、運動及び休養を含む総合的な指導を繰り返し実施し、ライフステージ又は健康度に応じた生活習慣又は行動を定着させ、生活習慣病を予防し、健康づくりを目的に実施した。

事業概要

事業名	実施体制	実施回数	周知方法	実施場所
高脂血症予防教室	医師、管理栄養士、保健師、運動指導員、事務	年2回 (5日コース)	市報	小金井市保健センター 小金井市総合体育館
糖尿病予防教室	医師、管理栄養士、保健師、運動指導員、歯科衛生士、事務	年1回 (5日コース)		
ヘルシーダイエット教室	医師、管理栄養士、保健師、運動指導員、事務	年2回 (5日コース)		
骨粗しょう症予防教室	医師、管理栄養士、保健師、運動指導員、事務	年1回 (4日コース)		

事業内容

事業名	内容				
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
高脂血症予防教室	医師講義 栄養講義	医師・保健師・管理栄養士・運動指導員による個別相談	栄養試食・講話	施設見学・運動実技	運動実技・まとめ
糖尿病予防教室	医師講義 栄養講義	医師・保健師・管理栄養士・運動指導員・歯科衛生士による個別相談	栄養講話	施設見学・運動実技	運動実技・まとめ
ヘルシーダイエット教室	医師講義 栄養講義	医師・保健師・管理栄養士・運動指導員による個別相談	栄養試食・講話	施設見学・運動実技	運動実技・まとめ
骨粗しょう症予防教室	医師講義 グループワーク 運動実技	栄養講義・試食・グループワーク・運動実技	施設見学・運動実技	栄養講義・試食・グループワーク・運動実技	

受診状況

区分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回数	参加者延数								
高脂血症予防教室	2回	129人	2回	126人	2回	89人	2回	119人	2回	108人
糖尿病予防教室	1回	45人	1回	48人	1回	33人	1回	42人	1回	22人
ヘルシーダイエット教室	2回	71人	2回	121人	2回	41人	2回	105人	2回	77人
骨粗しょう症予防教室	1回	97人	1回	90人	1回	84人	1回	83人	1回	93人

## (11) 健康教育

### ① 健康講演会

#### 実施方法

開始年度	昭和50年度
対象者	市民
周知方法	市報
内容	医科・歯科に関する講演
講師	小金井市医師会・小金井歯科医師会会員
実施場所	小金井市保健会場

#### 実施状況

項目	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回数	参加者数								
医科	5回	106人	5回	108人	5回	107人	5回	79人	5回	97人
歯科	3回	27人	3回	28人	3回	20人	3回	32人	3回	41人
計	8回	133人	8回	136人	8回	127人	8回	111人	8回	138人

#### 実施内容

開催日	講演内容	講師	参加者数
5月20日	入れ歯について	岩崎 宏	19人
6月11日	更年期障害について	篠田 昭彦	5人
7月30日	肝疾患について	畔田 浩明	12人
9月10日	脳血管の病気について	菊地 邦夫	49人
10月21日	噛むことの大切さ	平田 晋一	13人
11月12日	うつについて	牧野 英一郎	20人
1月14日	アレルギーについて	小川 裕三	11人
3月17日	虫歯予防について	石塚 基晴	9人

### ② 乳がん自己検診法講習会

乳がんへの意識普及・啓発を図るため、講習会を開催した。

#### 実施方法

開始年度	昭和50年度
対象者	市民
周知方法	市報
内容	医師による乳がんの講演・保健師のマンマモデルによる講習
講師	小金井市医師会会員
実施場所	小金井市保健会場

#### 実施状況

区分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回数	参加者数								
乳がん自己検診法	1回	12人	1回	14人	1回	16人	1回	8人	1回	9人

## (12) 健康相談

### ① 成人健康相談

市民の健康保持・増進のため疾病予防の健康相談、保健指導を実施し健康づくりへの支援を行った。

#### 実施方法

開始年度	昭和43年度
対象者	市民
周知方法	市報
実施回数	月2回(第2・4金曜日)
内容	血圧測定・体脂肪測定・健康相談・その他
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	医師・保健師・看護師

#### 実施状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
実施回数	49回	48回	50回	24回	24回
実施人数	265人	310人	262人	131人	80人

※平成19年度までは、毎週金曜日実施

### ② 出張健康相談・歯科健康相談

医師・歯科医師・保健師・看護師等が、市内の公共施設で健康相談を行い、一般市民の健康の保持増進を図った。

#### 実施方法

開始年度	昭和33年度
対象者	市民
周知方法	市報
申込方法	医師・歯科医師による相談は電話予約制 血圧測定・保健相談は直接会場参加
実施回数	出張健康相談20回・歯科健康相談12回
実施内容	健康相談・保健相談・血圧測定・歯科相談
実施場所	婦人会館・福祉会館・保健センター
実施体制	医師・歯科医師・保健師・看護師・事務

#### 実施状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
医 科	10人	6人	12人	3人	5人
歯 科	11人	10人	13人	7人	12人
計	21人	16人	25人	10人	17人

## 3. 歯科保健事業

### (1) 乳幼児歯科相談室

からだ全体の健康づくりの一環として、1歳6か月児・3歳児健康診査も踏まえ、健康教育として「むし歯予防教室」をはじめ、継続して「歯科健康診査」「歯科予防処置」を連動して行うことにより、乳幼児の口腔の健全な発育発達を促し歯科における健康増進を図った。

#### ① むし歯予防教室

##### 実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	概ね1歳～2歳6か月児
周知方法	市報
申込方法	電話
実施回数	年間39回
実施内容	個別歯磨き練習・栄養講話・健診予約
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	歯科衛生士・管理栄養士・事務

## ② 歯科健康診査

### 実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	概ね1歳～4歳未満児
周知方法	市報
申込方法	むし歯予防教室時予約・電話
実施回数	年間40回
実施内容	個別歯科健診・歯科健康相談・歯磨き練習 4歳の誕生日まで、3～6か月間隔で健診を継続 4歳直前の健診「卒業教室」…永久歯の話・一人磨きの練習
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	歯科医師・歯科衛生士・事務

## ③ 歯科予防処置

### 実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	概ね1歳～4歳未満児
周知方法	市報
申込方法	歯科健康診査の結果必要な場合、歯科医師の指示による
実施回数	年間70回
実施内容	フッ素塗布・フッ化ジアンミン銀溶液塗布・歯口清掃・歯石除去 (健診日から1か月以内に行う)「有料」(H18.4.1使用料改定)
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	歯科衛生士・事務

### 実施状況

区分	実施回数	予約数	実施延人数
むし歯予防教室	39回	259人	216人

区分	実施回数	予約数	初診	再診	合計	保健指導
歯科健康診査	40回	1,183人	214人	761人	975人	295人

区分	実施回数	予約数	実施延人数	フッ素塗布			フッ化ジアンミン銀溶液塗布			歯石除去	歯口清掃	合計件数	保健指導
				件数	塗布総歯数	3歳まで	4歳以上	塗布総歯数					
歯科予防処置	70回	800人	710人	692件	8,812本	17本	6本	54本	18人	2人	735人	3人	

### 実施状況

項目	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回数	利用延数	回数	利用延数	回数	利用延数	回数	利用延数	回数	利用延数
むし歯予防教室	40回	320人	40回	276人	40回	236人	39回	241人	39回	216人
歯科健康診査	40回	1,309人	40回	1,159人	40回	1,089人	40回	1,005人	40回	975人
歯科予防処置	72回	1,175人	72回	933人	70回	884人	70回	729人	70回	710人

## (2) 一般歯科健康診査(妊婦)

妊娠中は、身体や生活環境の変化等により歯科疾患が増加することが多い。さらに産後は子育てに追われ疾患が放置されやすいことから、妊娠中に口腔健診を行い疾患の予防や早期発見を図り、妊婦自身の歯科保健意識、健康観の向上に努め、併せて家族への波及効果も期待して実施した。

### 実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	市内在住の妊婦
周知方法	母と子の保健バック・両親学級・市報
申込方法	両親学級受講時および電話申込
実施回数	年間18回
実施内容	個別歯科健診・歯科保健指導・個別相談・歯科健康教育
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	歯科医師・歯科衛生士・事務

実施状況

対象者数	実施回数	受診者数	の未処置者	未処置歯の本数				喪失歯の者	要補綴のある者	歯肉炎のある者	歯周炎のある者	その他の者	異常なし	要指導の者	要歯除去	要治療・要精検	保健指導
				C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	C <sub>3</sub>	C <sub>4</sub>										
166人	18回	142人	148人	73本	74本	1本	0本	0人	44人	2人	27人	0人	142人	46人	50人	142人	

実施状況

平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
回数	受診延数								
10回	111人	10回	104人	10回	117人	18回	182人	18回	142人

(3) 各種事業における歯科健康教育・歯科健康相談

母子保健・歯科保健・老人保健等各種保健衛生事業相互の連携を図り、各段階においてふさわしい歯科教育・相談を実施し、市民の口腔における健康の保持増進を図った。

実施状況

① 歯科健康教育

事業名	内容	年間回数	実施人数	実施場所
乳児健康診査	乳歯の役割と母親の準備	24回	923人	保健センター
1歳6か月児健康診査	う蝕の原因と歯磨きの習慣づけ	24回	254人	保健センター
3歳児健康診査	3歳児の生活とう蝕予防	24回	488人	保健センター
むし歯予防教室	食習慣と歯磨き実習	39回	216人	保健センター
卒業教室	一人磨きの練習・永久歯の話	26回	59人	保健センター
一般歯科健康診査(妊婦)	口腔内の観察・自分にあった磨き方	18回	142人	保健センター
両親学級	妊娠期の歯の基礎知識と歯磨き	10回	239人	保健センター・保健会場
小金井市民の歯の健康	歯磨きの習慣づけとフッ素塗布	1回	280人	保健センター
保育園及び児童館歯科教育	汚れの確認と正しい歯磨き	5回	225人	市内保育園・市内児童館
計		171回	2,826人	

② 歯科健康相談

区分	乳幼児	成人	合計
来所	1人	1人	2人
電話	3人	8人	11人
その他	0人	0人	0人
合計	4人	9人	13人

(4) 成人歯科健康診査

高齢期の歯の喪失の原因となる歯周疾患の早期発見に努め、生涯を通じ自分の歯で過ごせることを目的に実施した。

実施方法

開始年度	平成3年度
対象者	35～70歳の5歳刻みの節目年齢の市民
周知方法	個別通知・市報
実施回数	年間1回
健診内容	歯周組織・口腔組織・顎関節・歯牙・義歯の診査・保健指導・総合判定・レントゲン(50・60歳)等
実施場所	市内契約歯科医療機関

受診状況及び検査結果

区分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
受診者		1,012人	901人	1,142人	1,672人	1,617人	
総合判定結果	健康	115人	96人	99人	115人	106人	
	要指導	66人	41人	58人	95人	93人	
	要治療	う蝕	409人	374人	507人	773人	751人
		歯周病	389人	405人	562人	828人	812人
		義歯調整	138人	120人	174人	183人	164人
その他	80人	29人	21人	35人	30人		
レントゲン撮影(50・60歳)						84人	

※平成20年度より、「歯周疾患検診」と統合した。

※平成21年度より、50・60歳には歯科医師の判断によりレントゲン撮影を実施。

現在歯数

区分 年齢	受診者数			現在歯数 (一人平均)		現在歯が24本 以上ある人数		現在歯が20本 以上ある人数		無歯顎者の 割合	
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
35歳	66人	131人	197人	28本	28本	64人	130人	64人	131人	0.0%	0.0%
40歳	67人	167人	234人	28本	28本	63人	164人	67人	166人	0.0%	0.0%
45歳	66人	140人	206人	28本	27本	65人	136人	66人	140人	0.0%	0.0%
50歳	60人	122人	182人	28本	27本	57人	116人	59人	121人	0.0%	0.0%
55歳	52人	108人	160人	27本	26本	49人	97人	51人	104人	0.0%	0.0%
60歳	75人	149人	224人	26本	25本	64人	121人	67人	136人	0.0%	0.0%
65歳	66人	124人	190人	25本	25本	50人	97人	59人	111人	0.0%	0.0%
70歳	86人	138人	224人	24本	23本	57人	85人	72人	114人	1.0%	1.0%
計	538人	1,079人	1,617人								

(5) 歯科医療連携推進事業

障害者又は要介護者に対するかかりつけ歯科医の紹介を実施した。

実施方法

開始年度	平成20年1月
対象者	かかりつけ歯科医の紹介が必要な障害者又は要介護者
相談受付	健康課又は小金井歯科医師会
実施内容	かかりつけ医の紹介(歯科診療所と専門歯科医療機関との相互紹介等)

実施状況

平成19年度	平成20年度	平成21年度
4人	7人	3人

(6) 歯の衛生週間行事

6月の「歯の衛生週間」にちなんで「小金井市民の歯の健康」行事を、小金井歯科医師会主催・小金井市協賛で実施した。

実施方法

開始年度	昭和55年度
対象者	市民
周知方法	市報・ホームページ・ポスター・チラシ・広報車による宣伝
実施回数	年間1回(平成18年度から日曜実施)
内容	歯科健診・相談・フッ素塗布・ブラッシング指導
実施場所	小金井市保健センター

実施状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
受診者数	638人	339人	363人	241人	280人

#### 4. 感染症予防事業

(1) 感染症発生及び消毒状況(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第27条)  
今年度は入院・消毒等の対象となる、1類～4類感染症の発生事例はなかった。

#### 5. 予防接種事業

##### (1) 定期予防接種(予防接種法第3条)

予防接種は、感染の恐れのある疾病の発生及び蔓延(まんえん)を防止するため、予防接種法に基づき実施した。

実施方法

開始年度	昭和23年度
対象者	下表:実施状況の対象者欄を参照
周知方法	生後3か月に達した月に予防接種手帳を配布・市報 65歳以上 市報、ホームページ
実施場所	個別接種 市内及び相互乗入市内の契約医療機関 集団接種 小金井市保健会場(ポリオ)

実施状況

区 分	対象者	A対象人員	B実施人員			接種率 a/A	
			a接種者	b予診のみ	c計		
三種混合(ジフテリア・百日ぜき・破傷風)	第Ⅰ期 初回 第1回 第2回 第3回 追加	3か月～ 7歳6か月未満	973人	907人	0人	907人	93.2%
			973人	895人	5人	900人	92.0%
			973人	884人	8人	892人	90.9%
			816人	703人	5人	708人	86.2%
	小計	3,735人	3,389人	18人	3,407人	90.7%	
ジフテリア・破傷風混合 第Ⅱ期	第Ⅱ期	11・12歳	936人	682人	1人	683人	72.9%
急性灰白髄炎	第1回	3か月～ 7歳6か月未満	973人	842人	43人	885人	86.5%
	第2回		973人	771人	31人	802人	79.2%
	小計		1,946人	1,613人	74人	1,687人	82.9%
麻疹・風しん	第Ⅰ期	1歳児	816人	808人	9人	817人	99.0%
	第Ⅱ期	小学校入学前1年間	875人	771人	0人	771人	88.1%
	第Ⅲ期	中学1年生に相当	945人	853人	0人	853人	90.3%
	第Ⅳ期	高校3年生に相当	937人	667人	1人	668人	71.2%
	小計		3,573人	3,099人	10人	3,109人	86.7%
日本脳炎	第Ⅰ期 初回 第1回 第2回 追加	3か月～ 7歳6か月未満	788人	411人	1人	412人	52.2%
			788人	359人	0人	359人	45.6%
			805人	39人	0人	39人	4.8%
			小計	2,381人	809人	1人	810人
	第Ⅱ期	9～12歳	988人	17人	0人	17人	1.7%
計		3,369人	826人	1人	827人	24.5%	
インフルエンザ		65歳以上又は60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に1級程度の障害を有する者	21,098人	8,372人	0人	8,372人	39.7%
合計			34,657人	17,981人	104人	18,085人	51.9%

##### (2) 新型インフルエンザ接種費助成

新型インフルエンザワクチン接種について、生活保護世帯の方、住民税非課税世帯(主たる生計維持者が平成21年度市都民税非課税の場合)の方を対象に、その費用の全額助成を行った。

助成金交付状況

接種区分	交付者数	単価(1回当たり)	交付総額
1回目	583人	3,600円	2,257,500円
2回目	61人	2,550円	

## 6. 結核予防事業

### (1) 成人結核検診(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)

結核予防として、15歳以上の方を対象に、胸部レントゲン直接撮影を実施した。

実施方法

開始年度	昭和24年度	
対象者	集団:15歳以上の市民	
	個別:特定健診受診者 後期高齢者医療健診受診者	
周知方法	市報	
実施場所	一次検診	集団:小金井市保健センター 個別:市内契約医療機関
	二次検診	都内契約医療機関

受診状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		平成21年度		
				集団	個別	集団	個別	
一次検診	受診者	1,505人	1,586人	1,184人	351人	15,362人	314人	15,174人
	異常なし	1,431人	1,523人	1,104人	333人	11,048人	294人	10,226人
	要経過観察	44人	28人	30人	13人	4,314人	7人	4,948人
	要精密検査	30人	35人	50人	5人		13人	
	要精密率	2.0%	2.2%	4.2%	1.4%		4.1%	
二次検診	要精密者	30人	35人	50人	5人		13人	
	受診者			38人	4人		9人	
	異常なし			18人	2人		1人	
	要経過観察			6人	0人		3人	
	要受診			14人	2人		5人	

※平成20年度より特定健診等の上乗せ項目として実施している胸部レントゲン検査も計上

※精密検査は集団対象者のみ実施

### (2) 乳幼児結核予防接種(予防接種法第3条)

結核の感染や発病を予防するため、予防接種法に基づき実施した。平成9年度からは、それまで年4回であったものを年6回に、平成17年度からは年12回へ、平成19年度からは年24回(3~4ヶ月児健診と同時実施)へと接種機会の拡大を図った。

実施方法

対象者	生後3か月~6か月未満
周知方法	予防接種手帳・市報
実施場所	小金井市保健センター

接種状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
BCG接種者	811人	824人	839人	880人	927人

## 7. 栄養指導・食育事業(健康増進法第17条)

平成15年5月に施行された健康増進法に基づき、地域住民を対象に栄養相談や栄養指導を実施している。妊産婦・乳幼児から成人まで各段階に応じて生活習慣を改善しながら「食」を通して生活の質の向上を目指すため各種事業を展開し、健康づくりへの支援を行った。

### (1) 栄養個別相談

妊産婦・乳幼児から成人・高齢者まで、個々の状況に合わせた食生活の改善など、生涯を通じ健やかな生活を送ることができるよう相談を実施した。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	市民
周知方法	母と子の保健バッグ・市報・各種保健衛生事業の案内
申込方法	電話予約
実施回数	月1回(状況に応じて指定日以外でも実施)
実施内容	個々の生活習慣に応じた相談
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	管理栄養士・事務

実施状況

回数	妊産婦	乳幼児	成人	計
22回	0人	15人	29人	44人

### (2) 栄養集団指導

地域住民のニーズに合わせた多様なテーマを設定し、自ら楽しみながら栄養改善・生活改善等について学び、生活の向上及び健康づくりへの意識の高揚を図った。

実施方法

開始年度	平成9年度
対象者	市民
周知方法	市報・各種保健衛生事業の案内
申込方法	電話予約
実施回数	年7回
実施内容	講義・食生活指針・調理実習・試食
実施場所	小金井市保健センター
実施体制	管理栄養士・事務

実施状況

開催月	内 容	参加者数
5月	バランスのいい食事とは	20人
7月	食事です予防メタボリックシンドローム	13人
8月	親子でクッキング	※ 4人
9月	こつこつとろうカルシウム	15人
9月	体脂肪を減らす食事 元気でキレイにダイエット	7人
12月	高脂血症予防の食事	19人
2月	減塩でも美味しい食事	21人
	計	99人

※参加児童2名含む

区分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回数	参加者数								
栄養個別相談	34回	45人	32回	39人	31回	50人	20回	28人	22回	44人
栄養集団指導	6回	111人	6回	92人	6回	112人	6回	102人	7回	99人

### (3) 食育事業

妊婦や乳幼児という特定の年齢層を対象に、食べることの大切さや正しい食知識の普及と、望ましい食行動の実績を図った。

#### 実施方法

区分	マタニティクッキング	離乳食教室	こどもクッキング
開始年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度
対象者	妊婦(概ね30週までの妊婦とそのパートナー)	概ね8ヶ月から11ヶ月の乳児の保護者	2歳から就学前までの幼児とその保護者
周知方法	市報、ちらし、ホームページ	市報、ちらし、ホームページ	市報、ちらし、ホームページ
申込方法	電話申込	電話申込	電話申込
実施内容	妊娠中の栄養についての講義・調理実習・試食	離乳食3回食への進め方の講義・試食	こどもの栄養についての講義・調理実習・試食
実施場所	小金井市保健センター	小金井市保健センター・小金井市保健会場	小金井市保健センター
実施体制	栄養士・事務	栄養士・事務・保育士	栄養士・事務・保育士
実施回数	4回	12回	4回
参加者数	38人	139人	大人34人・こども37人

#### 実施状況

区分	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
マタニティクッキング	4回	39人	4回	47人	4回	38人
離乳食教室	10回	118人	12回	137人	12回	139人
こどもクッキング	3回	41人	4回	34人	4回	34(37)人

※こどもクッキング参加人数の( )はこどもの人数

### (4) 各種事業における栄養相談・栄養指導

母子保健・歯科保健・成人保健等各種保健衛生事業相互の連携を図り、各段階においてふさわしい栄養相談・栄養指導を実施し、市民の「食」を通して健康の保持・増進を図った。

#### 実施状況

区分	事業名	形態	内容	年間回数	参加者数	
妊婦	両親学級	個別	食事診断	個別	79人	
		集団	妊娠中と授乳期の栄養について			集団
		たんぼぼクラス	集団	妊娠中と授乳期の栄養について	集団	4回
計				10回	240人	
乳幼児	3～4か月健康診査	集団	離乳食の進め方・試食	24回	931人	
		個別	健診後の個別相談			16人
	1歳6か月健康診査	集団	月齢に応じた栄養講話	24回	254人	
		個別	健診後の個別相談			115人
	3歳児健康診査	集団	望ましい食生活や生活に関する紙芝居	24回	488人	
		個別	健診後の個別相談			53人
	経過観察健康診査	個別	一般健診後の個人に合わせた相談・指導	12回	22人	
むし歯予防教室	集団	食生活からのむし歯予防について	39回	204人		
	個別	むし歯予防教室後の個別相談			147人	
計				123回	2,230人	
成人	健康づくりフォロー	集団	病態別講義・試食等	2回	46人	
		個別	食事診断結果に基づく改善指導			23人
	糖尿病予防教室(5日間コース)	集団	病態別講義	1回	9人	
		個別	食事診断結果に基づく改善指導			5人
	ヘルシーダイエット教室(5日間コース)	集団	病態別講義・試食等	2回	31人	
		個別	食事診断結果に基づく改善指導			16人
骨粗しょう症予防教室(4日間コース)	集団	病態別講義・調理・試食等	1回	40人		
計				6回	170人	

### (5) 食育月間行事

食育推進計画を策定し、野菜、団らん、ふれあい、環境をキーワードとする「小金井らしい食育のあるひとづくり・まちづくり」(Koganei-Style)を地域に展開していくために、さまざまな取り組みを推進した。また、6月の食育月間にちなんで、講演・イベント等を実施した。

#### 実施方法

開始年度	平成20年度(平成21年度より企画政策課から移管)
対象者	市民
周知方法	市報・ホームページ・ポスター・チラシ

#### 実施状況

区分	平成20年度	平成21年度
内容	食育推進シンポジウム	野菜に着目した講演・イベント
実施日	平成20年6月14日(土)	平成21年6月14日(日)
会場	東京学芸大学	小金井市保健会場
参加者数	28人	42人

### (6) 食育ホームページ編集委員会

市民ボランティアによる食育ホームページ編集委員会が「食育ホームページ」を作成・運営し、食育や食品等に関する情報を提供した。

#### 実施方法

開始年度	平成20年度(平成21年度より企画政策課から移管)
周知方法	ホームページ
実施回数	随時
実施内容	食育に関する情報・豆知識やイベント情報などをホームページ上で提供
実施体制	ボランティア(平成21年度 7名)

### (7) 乳幼児食育メール配信事業

毎月1回、管理栄養士が食に関するコラム・レシピなど、お子さんの月齢に合わせた情報を配信。

実施方法

開始年度	平成21年度(平成21年10月開始)
対象者	0～5歳の乳幼児の保護者
周知方法	市報・ホームページ・チラシ
実施回数	月1回配信
実施内容	対象者の年齢に合わせた情報を配信する
実施形態	インターネット接続環境にある携帯電話・パソコン

平成21年度登録者数

0～1歳	307人
2～3歳	115人
4～5歳	25人

### (8) 食育関連団体登録制度

小金井市における食育の推進を図るため、食育や食生活の改善、その他食生活を豊かにする活動を行っている団体や個人に対する登録制度を行い、情報交換や情報発信等の支援を行った。

実施方法

開始年度	平成20年度(平成21年度より企画政策課から移管)
対象者	市内において、食育や食生活の改善するための活動を継続的かつ計画的に行う団体又は個人
周知方法	市報・ホームページ

実施状況

区分	平成21年度
登録団体数	7団体

## 8. 休日診療・救急医療対策事業

### (1) 休日・休日準夜診療事業

地域救急医療対策の一環として、病医院の休診日にあたる休日、祝日及び年末年始に急病患者に対する初療施設を確保するため医師会に委託し実施した。

区分	診療科目	診療日	診療時間	開始年度
休日診療	内・小・外・他	日曜・祝日・年末年始	9時～12時、13時～17時	昭和45年度
休日準夜診療	内・小・外・他	日曜・祝日・年末年始	18時～21時30分 受付時間 17時30分～21時	昭和54年度

#### 利用状況

区分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
休日	診療日数	71日	71日	72日	72日	72日	
	医療機関数	283機関	284機関	287機関	288機関	288機関	
	患者数	6,887人	7,270人	6,946人	7,054人	8,185人	
	内訳	内科	2,670人	2,643人	2,710人	2,611人	3,204人
		小児科	1,599人	1,943人	1,509人	1,560人	2,027人
外科		204人	211人	181人	199人	168人	
	その他	2,414人	2,473人	2,546人	2,684人	2,786人	
休日準夜	診療日数	71日	71日	72日	72日	72日	
	医療機関数	71機関	71機関	72機関	72機関	72機関	
	患者数	498人	538人	552人	603人	816人	
	内訳	内科	287人	308人	337人	363人	489人
		小児科	173人	8人	171人	212人	292人
外科		17人	204人	34人	14人	19人	
	その他	21人	18人	10人	14人	16人	

### (2) 休日・休日準夜歯科診療事業

休祝日における歯科救急患者に対する医療を確保するため、市が歯科医師会に運営費の補助を行い、歯科初療施設を確保した。

区分	診療科目	診療日	診療時間	開始年度
休日診療	歯	日曜・祝日・年末年始	9時～12時、13時～17時	昭和56年度
休日準夜診療	歯	日曜・祝日・年末年始	18時～20時	平成7年度

#### 利用状況

区分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
休日	診療日数	71日	71日	72日	72日	72日
	医療機関数	71機関	71機関	72機関	72機関	72機関
	患者数	511人	452人	452人	435人	375人
休日準夜	診療日数	71日	71日	72日	72日	72日
	医療機関数	71機関	71機関	72機関	72機関	72機関
	患者数	109人	120人	108人	137人	135人

### (3) 小児救急医療

開始年度	平成15年度
実施内容	武蔵野赤十字病院に、小児救急医療体制の充実のために費用の一部を負担し、住民の健康保持に努めた
分担金	年間 3,000,000円
実施場所	武蔵野赤十字病院

#### 利用状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
利用者数	1,883人	2,018人	1,874人	1,633人	2,088人

## 9. 昭和病院組合事業

市民の健康保持を目的として8市で、一部事務組合を構成、組織市住民の公的医療機関として、分賦金を支出した。なお、一部事務組合は昭和3年に設立され、事業開始は昭和4年、小金井市は昭和5年に加入した。

構成市	小金井市・小平市・東村山市・東久留米市・清瀬市・東大和市・武蔵村山市・西東京市
所在地	東京都小平市天神町二丁目450番地
病床数	一般:512床 感染症:6床
診療科目等	内科系 一般内科・心身医療科・内分泌代謝科・腎臓内科・救急医学科・神経内科・呼吸器科・感染症科・消化器内科・循環器科・小児科 外科系 外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科・歯科口腔外科・麻酔科 各センター 救命救急センター・健康管理センター・腎センター・未熟児センター 中央診療部門 薬剤部・放射線科・検査科・病理診断科・リハビリテーション科・栄養科・臨床工学室  診療科目数21科目

### 利用状況(小金井市民)

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
外来	9,722人	9,041人	8,101人	7,445人	7,157人
入院	5,243人	4,697人	3,907人	4,148人	4,523人
休日・夜間救急	809人	767人	662人	719人	720人
人間ドッグ	101人	133人	72人	70人	65人
脳ドッグ	2人	1人	7人	10人	20人
胃集団検診(一次)	1,457人	1,488人	1,214人	1,692人	1,697人

※ 休日・夜間救急利用者数は、外来、入院の内数

### 負担金推移

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
85,112,000円	89,040,000円	90,471,000円	86,279,000円	86,605,000円

## 10. 献血事業

献血思想の普及・啓発を図るため、献血推進協議会に補助金を交付している。

実施方法

開始年度	昭和54年度
献血対象者	16～69歳の市民
周知方法	市報・ポスター
内容	200ml、400ml献血

※ 対象者のうち65歳以上は、60～64歳までに献血経験のある者に限る。

献血者数

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
実施回数	42回	39回	37回	31回	28回	
内訳	地域	11回	10回	9回	5回	5回
	職域	8回	7回	6回	6回	7回
	学域	23回	22回	22回	20回	16回
受付	2,643人	2,434人	2,472人	2,138人	1,944人	
採血	200ml	481人	380人	324人	342人	391人
	400ml	1,596人	1,504人	1,536人	1,351人	1,152人

## 11. 狂犬病予防事業

実施方法

開始年度	平成12年度(都より移譲)
対象者	畜犬所有の市民
内容	畜犬登録及び鑑札の交付・注射済票の交付・集合注射の実施
受付場所	健康課・市民課

畜犬登録状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
登録総頭数	3,628頭	3,848頭	3,969頭	4,113頭	4,164頭
新規登録頭数	365頭	410頭	395頭	365頭	384頭
注射済票交付件数	2,915件	3,024件	3,230件	3,295件	3,291件
集合注射実施件数	766件	725件	673件	616件	604件

## 12. 養育医療給付申請書等受理事務

未熟児の入院医療給付の制度である養育医療給付申請書等受理事務を行い、申請受付時に地区担当保健師による周辺相談を受ける等、早期に未熟児と家族の支援を開始した。

実施方法

開始年度	平成16年度(平成16年10月1日開始)
対象者	東京都養育医療給付制度対象の市民
内容	申請等受理経由事務、周辺相談
受付場所	健康課

実施状況

種別	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
養育医療給付申請書受理件数	32件	25件	23件	29件	23件

### 13. 大気汚染健康障害者医療費助成申請書等受理事務

大気汚染の影響を受けると推定される疾病にかかった方を対象とする、大気汚染医療費助成申請等受理事務を行い、申請等受付時に希望があれば保健師による周辺相談を受け適切な助言等を行うことで、疾病を持った方と家族の負担軽減を図った。

#### 実施方法

開始年度	平成16年度(平成16年10月1日開始)
対象者	東京都大気汚染健康障害者医療費助成制度対象の市民
内容	申請等受理経由事務、周辺相談
受付場所	健康課

#### 実施状況

種別	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
認定申請書(新規)受理件数	73件	71件	52件	434件	221件
認定期間更新申請書受理件数	143件	168件	152件	171件	162件
その他	21件	29件	26件	28件	62件

※ 平成20年8月1日から気管支ぜん息の対象年齢を18歳未満から全年齢に拡大

### 14. 原子爆弾被爆者等援護受理事務

小金井市に在住する原子爆弾被爆者の健康保持及び増進並びに福祉の向上を図るため、健康診断、医療給付、その他援護関係申請等の受理事務を行った。

#### 実施方法

開始年度	平成16年度(平成16年10月1日開始)
対象者	小金井市在住の原子爆弾被爆者及びその子
内容	申請等受理経由事務
受付場所	健康課

#### 実施状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
申請書等受理件数	34件	27件	23件	33件	30件

### 15. 原子爆弾被爆者見舞金

見舞金を支給することにより、被爆者の福祉の増進に寄与することを目的に実施した。

#### 実施方法

開始年度	平成元年度(平成17年度に福祉推進課から移管)
対象者	被爆者健康手帳所持者で、6月1日現在、住民基本台帳および外国人登録原票に記載されている者
支給内容	12,000円を年1回支給
受付場所	健康課

#### 実績

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
支給対象者	111人	108人	105人	103人	102人

### III 参 考 资 料

## 1. 関連組織

### (1) 小金井市市民健康づくり審議会

設置趣旨	市民の健康を保持増進し、生涯をとおしての健康づくりの推進、基盤整備、普及・啓発を図ることを目的に、総合的な保健の施策に関する事項を調査及び審議する為、市長の付属機関として設置	
設置年度	昭和58年度	
委員構成	① 一般市民	5 人以内
	② 市議会議員	1 人
	③ 医療関係者	5 人以内
	④ 社会福祉関係者	2 人以内
	⑤ 東京都多摩府中保健所	1 人
	⑥ 社会体育関係者	1 人

#### 審議会開催状況

年度	開催日	議 題
17	11月29日	1. 平成17年度保健衛生事業実施報告について 2. その他
	2月8日	1. 平成18年度保健衛生事業予算概要について 2. その他
18	11月21日	1. 平成18年度保健衛生事業実施報告について 2. その他
	2月20日	1. 平成19年度保健衛生事業予算概要について 2. その他
19	10月30日	1. 平成19年度保健衛生事業実施報告について 2. その他
	2月19日	1. 平成20年度保健衛生事業等について 2. その他
20	10月28日	1. 平成19年度保健衛生事業報告について 2. 平成20年度保健衛生事業状況について
	3月17日	1. 平成21年度保健衛生事業について 2. その他
21	1月22日	1. 平成21年度保健衛生事業実施状況について 2. その他
	3月30日	1. 平成22年度保健衛生事業について 2. その他

### (2) 食育推進会議

設置趣旨	食育基本法第33条第1項の規定に基づき、小金井市食育推進計画の作成及びその実施の推進、その他食育推進に関する重要事項について審議するため設置。	
設置年度	平成19年度（平成21年度から企画政策課から移管）	
委員構成	① 一般市民	4 人以内
	② 学識経験者	2 人以内
	③ 関係団体の役員又は職員	5 人以内
	④ 関係行政機関の職員	1 人以内
	⑤ 市の職員	1 人

#### 審議会開催状況

年度	開催日	議 題
21	12月21日	1. 「小金井市食育推進計画」の進捗状況について 2. 乳幼児食育メールについて 3. 食育ホームページについて
	3月15日	1. 「小金井市食育推進計画」の進捗状況について 2. 食育月間について 3. 食育ホームページについて

### (3) 予防接種対策連絡会

設置趣旨	予防接種事故防止対策並びに不測の事態発生時に相互の緊密なる連絡をもととして予防接種の実施の計画立案及び実施要領の調整を図ることを目的に設置
設置年度	昭和47年度
委員構成	① 小金井市医師会医師 3人 ② 東京都多摩府中保健所 1人 ③ 小金井市職員 2人

### (4) 予防接種健康被害調査委員会

設置趣旨	予防接種法(昭和23年法律第68号)に基づく予防接種健康被害の適正かつ円滑な処理に資するため設置
設置年度	昭和44年度
委員構成	① 小金井市医師会医師 3人以内 ② 東京都多摩府中保健所長 1人 ③ 東京都知事推薦の専門医師 1人 ④ 市長の指定した市職員 2人以内

### (5) 小金井市献血推進協議会

設置趣旨	献血思想の普及・啓発及び献血者の組織化を図るとともに、正しい献血制度の周知と安定した輸血用血液確保を目的に設置。
設置年度	昭和55年度

### (6) 重症急性呼吸器症候群(SARS)等対策連絡会

設置趣旨	重症急性呼吸器症候群(SARS)等の予防に係る対応策及びSARS等の感染が懸念される事案が発生したときの対応を検討することを目的として、SARS等対策連絡会を設置。その後平成16年1月に国内で高病原性鳥インフルエンザが発生し、その対応と今後新たに新型感染症が発生した場合にも適用するため、要領の一部を改正し、重症急性呼吸器症候群(SARS)等対策連絡会とした。
設置年度	平成15年度
委員構成	① 小金井市医師会医師 ② 東京都多摩府中保健所職員 ③ 福祉保健部長 ④ 福祉保健部健康課長 ⑤ その他SARS等の感染が懸念される事案に係る主管部長及び主管課長

### (7) 東京都薬物乱用防止小金井地区推進協議会

設置趣旨	薬物乱用防止のための啓発活動を推進するにあたり、地域社会に根ざした活動を効果的に行うことにより、もって薬物乱用禍の根絶を図ることを目的に設置。
設置年度	昭和59年度

※平成12年度までは、東京都覚せい剤等乱用防止推進地区協議会として設置

### (8) 小金井市新型インフルエンザ対策本部

設置趣旨	新型インフルエンザに対する、感染の拡大防止と早期対応の充実を始め、必要な対策を迅速かつ総合的に推進し、市民の健康被害を防止するとともに社会機能を維持することを目的として、小金井市新型インフルエンザ対策本部を設置した。
設置年度	平成21年度
委員構成	① 本部長:市長 ② 副本部長:副市長、教育長 ③ 本部長:部長職者 ④ 事務局:福祉保健部健康課 事務局:総務部地域安全課(補佐)

## 平成22年度発行 小金井市の保健衛生

発	行	平成23年1月
編	集	小金井市福祉保健部健康課
所	在	地
		小金井市貫井北町5-18-18
		小金井市保健センター
電	話	042-321-1240